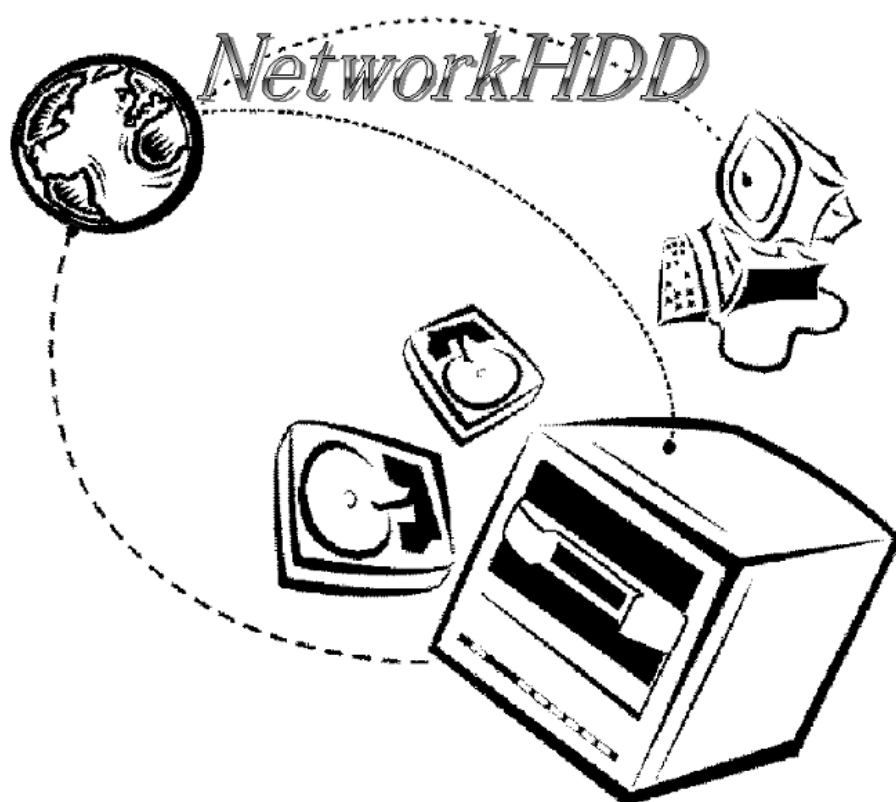


ハードディスクユニット-120GB(LAN/RAID) FMHD-12LR



オンラインマニュアル

はじめに

このたびは、FMHD-12LR をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、FMHD-12LR（以下、本装置）をご使用になれる方に、本装置の正しい操作および取り扱いかたをご理解いただくために書かれています。

万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

2002 年 12 月

安全にお使いいただくために

本装置を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方への危害や財産への損失を未然に防ぐために、この項の記載内容を十分にご理解のうえ、必ずお守りいただきますようお願いいたします。

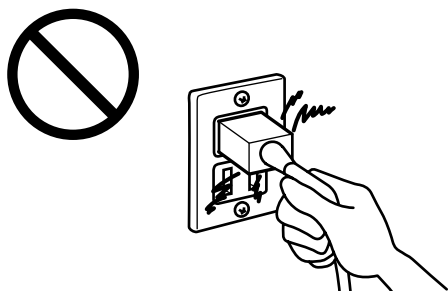
 警 告	この表示のある欄は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注 意	この表示のある欄は、「誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

	この表示のある説明は、それが「禁止の行為」であることを告げるものです。
	この表示のある説明は、それが「必要な行為」であることを告げるものです。

警告

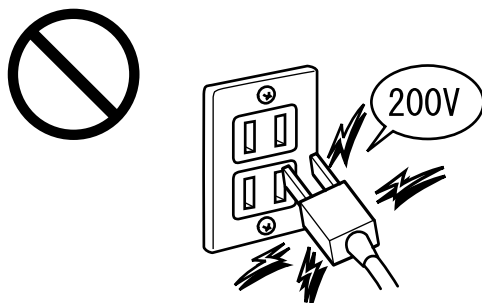
電源コードは強く引っ張らない。

コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源はAC100V以外使用しない。

故障や火災・感電の原因になります。



本機に水などをこぼさない。

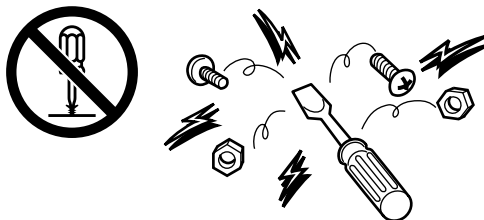
故障や火災・感電の原因になります。



★水などをこぼした場合は使用を中止し、電源を切って、電源プラグを抜いてください。技術的なご相談、修理に関しては「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へ。

絶対に分解・修理・改造などしない。

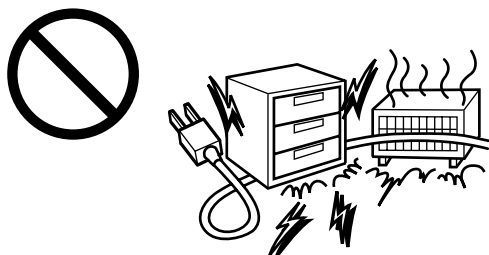
故障や火災・感電の原因になります。



★技術的なご相談、修理に関しては「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へ。

電源コードに重いものを載せたり、熱器具を近づけたりしない。

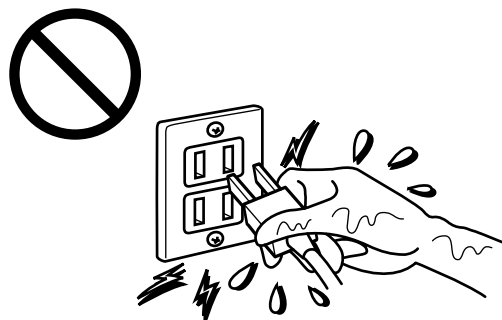
故障や火災・感電の原因になります。



★技術的なご相談、修理に関しては「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へ。

ぬれた手で電源プラグに触らない。

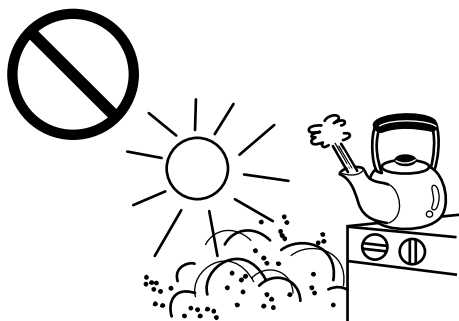
感電によるケガや故障の原因になります。



⚠ 注意

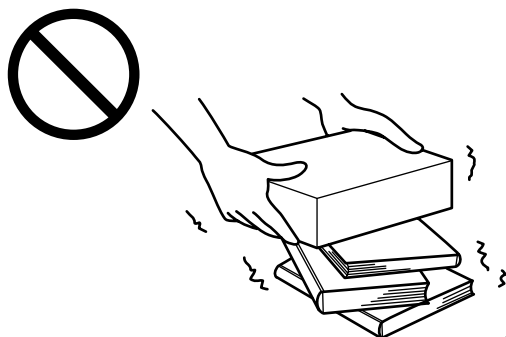
湿気やほこりの多い場所、
直射日光のあたる場所に置かない。

故障や火災・感電の原因になります。



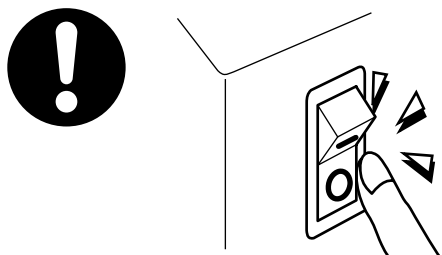
縦置きしたり、不安定な場所に置かない。

落ちる倒れるなどケガや故障の原因になります。



本機を移動・接続するときは、
電源スイッチを切る。

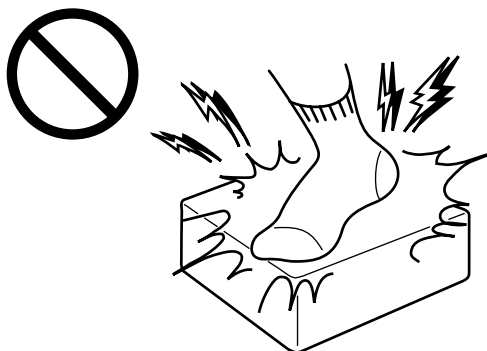
電源を入れたまま移動・接続すると、
故障や感電の原因になります。



★ ただし、本機がアクセス中の場合は、
電源を切らないでください。

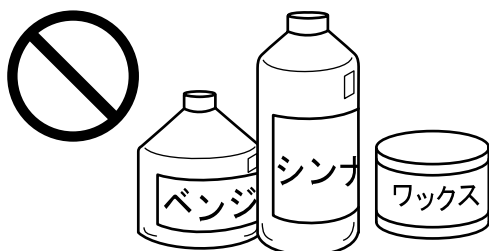
本機の上に重いものを載せたり、
乗ったりしない。

故障や火災・感電の原因になります。



化学薬品で手入れをしない。

変質したり、塗装などがはげる場合があります。



★ 化学ぞうきんを使用するときは、
その注意書きに従ってください。

リサイクルについて

本装置の廃棄について

本装置を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

なお、本装置を使用していた状態のまま廃棄すると、ハードディスク内の情報を第三者に見られてしまう恐れがあります。廃棄するときは、すべてのドライブのデータを削除することをお勧めします。

ただし、ファイルを削除しただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元される可能性があります。機密情報や見られたくない情報を保存していた場合には、復元されないようにすることをお勧めします。

データの完全消去に関しては、本装置はハードディスク全面にランダムデータを複数回書き込むことによりお客様のデータを消去する機能を有しています。データ消去機能の詳細は、「第 6 章 データ消去」を参照してください。また、当社にて法人・企業のお客様向けの「データ完全消去サービス（有料）」を提供しております。詳細は本装置購入先の担当営業またはストレージ統合サービス（<http://storage-system.fujitsu.com/jp/service>）までお問い合わせください。

なお、法人・企業以外のお客様はご利用できません。

■法人・企業のお客様へ

本装置を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は「富士通りサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますので、ご利用ください。

■個人のお客様へ

本装置を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規制に従ってください。

富士通りサイクルシステムについて

当社では平成 10 年より、法人・企業のお客様から廃棄されるコンピュータ周辺機器を「富士通りサイクルシステム」（有料）にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

お問い合わせ／お申し込み先：富士通りサイクルシステム（<http://eco.fujitsu.com/info/eco19990827.html>）をご参照ください。

なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。

お問合せについて

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご相談ください。

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口：0120-950-222（フリーダイヤル）

- ・ おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・ ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。
- ・ 営業時間 9:00 ～ 17:00（土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、ハードディスクの内容が修理前とは異なり、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとって保管しておいてください。
- ・本装置の補修用性能部品（性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 5 年間です。

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

耐用年数について

本製品を安定した状態でご使用になれる期間（耐用期間）は 5 年または 12000 時間のいずれか早い方です。これは以下の条件でご利用いただいた場合を想定しています。

耐用期間は、設置環境、使用頻度により大幅に変動します。

- ・ 1 日 8 時間、月当たり 200 時間の使用
- ・ 使用環境温度 25℃

有寿命部品について

お客様の使用環境や使用時間により、保守サポート期間内に交換が必要となる定期交換部品があります。これらの部品は有償にて交換を行います。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

データのバックアップについて

本装置に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2002

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

目次

目次	7
第 1 章 FMHD-12LR について	
1 FMHD-12LR の機能	10
2 パッケージ内容	12
3 システムの必要条件	13
4 FMHD-12LR のコネクタとスイッチ	14
第 2 章 設置と初期設定	
1 FMHD-12LR の設置	20
2 セットアップ手順	21
第 3 章 運用と管理	
1 概要	26
2 Web Setup ユーティリティ	27
3 Web Setup ユーティリティのメニュー	30
4 Web Setup ユーティリティの Basic（基本設定）メニュー	31
5 Web Setup ユーティリティの Basic（基本設定）項目	32
6 Web Setup ユーティリティの Advanced メニュー	39
7 Web Setup ユーティリティの Advanced 項目	42
8 RAID サブシステムの保守	67
9 設定例	73
第 4 章 装置のバックアップ	
1 データのバックアップ	84
2 設定情報のバックアップ	85
3 スケジュールによるバックアップ	87
第 5 章 ユーザの環境設定	
1 アカウントパスワードの変更	92
2 共有フォルダ／ファイルの参照	94
3 ディスクの使用	95
第 6 章 データ消去	
第 7 章 トラブルシューティングと FAQ	
第 8 章 付録	
索引	111

1

第 1 章

FMHD-12LR について

1	FMHD-12LR の機能	10
2	パッケージ内容	12
3	システムの必要条件	13
4	FMHD-12LR のコネクタとスイッチ	14

1 FMHD-12LR の機能

FMHD-12LR（以下、本装置）では、複数の LAN ユーザが本装置に格納されたデータを共有できます。本装置は、Windows をサポートしています。



本装置の機能

■ 簡単な LAN の接続（10/100Base-TX）

10/100Base-TX 自動識別の LAN 接続機能により、面倒なディップスイッチの設定は必要ありません。

■ Windows のサポート

クライアントには、Microsoft Windows PC（Windows 98/Me/NT4.0（workstation）/2000（Professional）/XP（Home Edition/Professional））をサポートしています。

■ OS ツールを使用したファイル管理

お使いのコンピュータから本装置にアクセスできるようになると、OS が提供する使い慣れたツールを使用してフォルダやファイルを管理できます。例えば、本装置を追加された 1 台のドライブとして、Windows エクスプローラやマイコンピュータから参照できます。

■ DHCP クライアントのサポート

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバは、クライアントからの要求により、コンピュータや他のホストに対して動的に IP アドレスを提供します。要求元ホストは、DHCP クライアントと呼ばれます。本装置は、DHCP クライアントとして使用できます。

■ 複数セグメントの LAN のサポート

ルータがある場合、他の LAN セグメント上のコンピュータからも本装置を使用できます。

■ 簡単なセットアップ

本装置を簡単に設定できる NetworkHDD Setup ユーティリティを用意しています。

■管理者による管理、運用

管理者は、次のように本装置を管理、運用できます。

アカウント	各アカウントは、それぞれにパスワードを持ち、本装置へアクセス可能です。
グループ	グループは、アカウントで構成されます。アカウントは、複数のグループに所属できます。
共有フォルダ	共有フォルダは、アカウント / グループがアクセスできる本装置上のフォルダ（ディレクトリ）です。管理者のみが共有フォルダを作成できます（アカウントは共有フォルダ内のフォルダを作成できます）。
アクセス権	共有フォルダへのアクセスは、「読み取り専用 :Read-only」または「読み書き :Read-Write」です。管理者は、すべてのアカウントグループの共有フォルダへのアクセスを禁止することもできます。管理作業を軽減するため、共有フォルダへのアクセスは個々のアカウント単位ではなく、グループ単位に設定します。
リモート管理	管理者は、Web ブラウザを使用して本装置を管理できます。

■データバックアップ機能

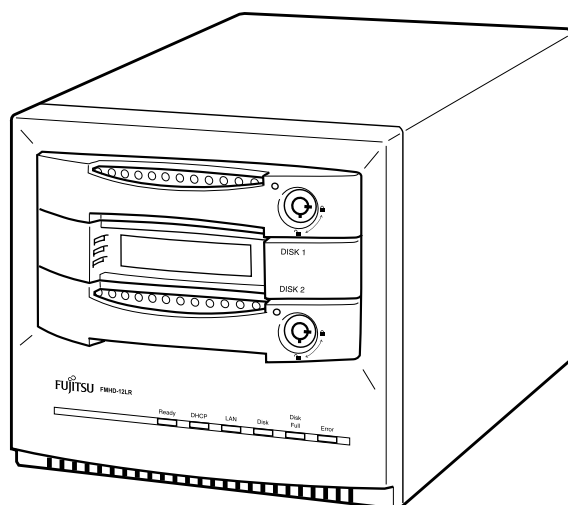
本装置のデータをスケジュール（毎日、曜日毎等）管理により、自動でバックアップすることが可能です。バックアップモードは、フルバックアップモード・差分バックアップモード等を選択して設定することが可能です。バックアップ先は LAN 上の他のパソコンやハードディスクユニットにすることができます。

■データ消去機能

本装置のデータを消去する機能により廃棄時のデータ流出を防ぐことが可能です。

■アカウントデータインポート機能

CSV 形式で作成したアカウントリスト（ユーザ名リスト）を本装置にインポートすることが可能です。



2 パッケージ内容

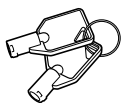
本装置の同梱品は、次のとおりです。パッケージの内容をご確認ください。

- ・ FMHD-12LR 本体（スペアディスクを除く。）
- ・ スペアディスク（FMHDC-12LR と同等品）（2 台）
- ・ 電源ケーブル
- ・ CD-ROM

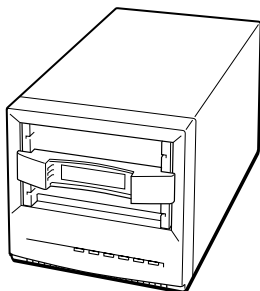
CD-ROM には、本取扱説明書のオンライン版と NetworkHDD Setup ユーティリティが含まれています。

- ・ 鍵（2 個）
- ・ 取扱説明書（本書）
- ・ 保証書

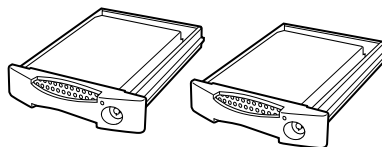
上記の同梱品のいずれかが破損または不足している場合は、ご購入元にご連絡ください。



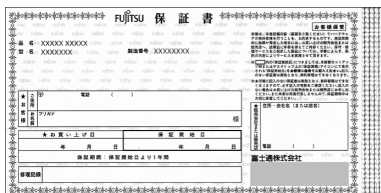
鍵（2 個）



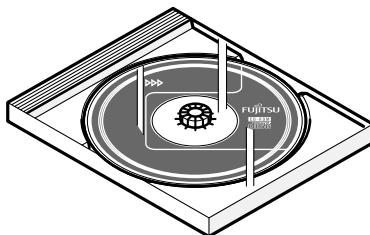
本体



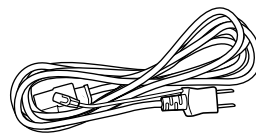
スペアディスク（2 台）



保証書



CD-ROM



電源ケーブル



取扱説明書

3 システムの必要条件

- ・ 10Base-T または 100Base-TX を使用するイーサネットネットワーク
- ・ TCP/IP プロトコル

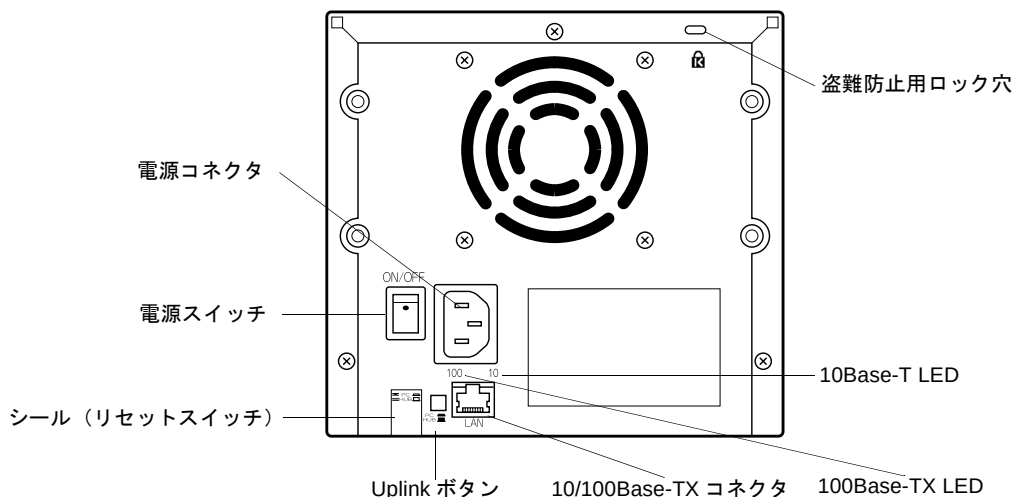
次のクライアントコンピュータをサポートしています。マルチ CPU には対応していません。

- ・ Windows 98/Me/NT4.0 (workstation) /2000 (Professional) /XP (Home Edition/ Professional) を使用する PC

4 FMHD-12LR のコネクタとスイッチ

本装置のすべてのコネクタとスイッチは、背面パネルにあります。

背面パネル



電源コネクタ

付属の電源ケーブルを接続します。

電源スイッチ

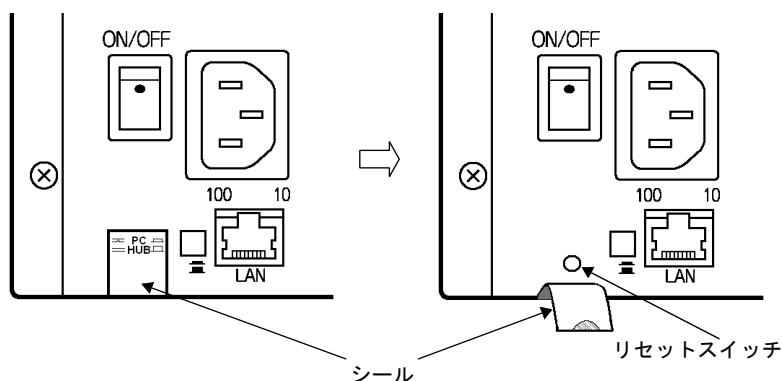
オフのときは、一度押すとオンになります。手を離すと元の位置に戻ります。
オンのときは、一度押すと本装置のシャットダウンが始まります。
シャットダウン中は、Ready LED が点滅します。

POINT

- ・ システムが応答しなくなりシャットダウンできない場合は、4 秒以上押したままにすると電源をオフにすることができます。
- ・ 電源をオフにした直後にオンにする場合は、4 秒以上経過してからオンにしてください。

リセットスイッチ

シールをはがすと、リセットスイッチの穴があります。穴の中のスイッチを 1 回押すと、ピッと短い音が鳴り、設定されている **IP アドレスが初期化**され、デフォルトの DHCP クライアントとして IP アドレスを取得する状態に戻ります (DHCP から取得できなかった場合、IP アドレスは 192.168.0.2 になります)。



POINT

リセットスイッチは、電源オンで Ready ランプが点灯している状態のときに使用してください。システム起動中や、シャットダウン中には押さないでください。

重要

- ・ リセットスイッチを押すと、設定されていた IP アドレスは消去されますので、取扱いにはご注意ください。
- ・ リセットスイッチ使用後は、シールを元の状態に貼り付けてください。

Uplink ボタン

通常の接続 (ハブ接続) では、このボタンを上げたままにします。
PC の LAN ポートへ直接接続する場合は、このボタンを押してください。

10/100Base-TX コネクタ

このコネクタを使用し、お使いの 10Base-T または 100Base-TX の PC の LAN ポートやハブに本装置を接続します。

100Base-TX LED

(橙色)

10/100Base-TX コネクタで 100Base-TX を使用している場合に点灯します。

10Base-T LED

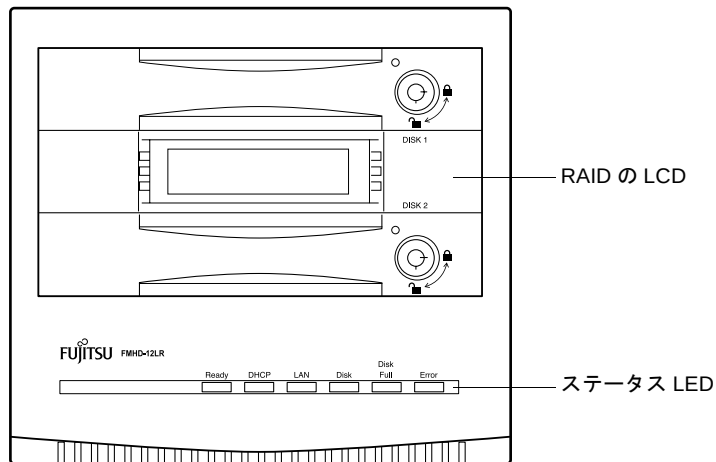
(緑色)

10/100Base-TX コネクタで 10Base-T を使用している場合に点灯します。

盗難防止用ロック穴

盗難防止用ワイヤーを取り付けてください。

前面パネル (LED)



■ RAID の LCD

本装置の前面パネルのスペアディスクの間に、RAID のステータス表示を行う LCD パネルがあります。表示画面は上下 2 段になっています。

上側のスペアディスクを Disk1、下側のスペアディスクを Disk2 と表示します。

ステータスメッセージおよび説明の一覧は、P.67「8 RAID サブシステムの保守」を参照してください。

■ ステータス LED

本装置の前面パネルには、次の 6 個のステータス LED があります。

Ready	通常は点灯です。 起動時とシャットダウン時に点滅し、シャットダウンが完了すると消灯します。
DHCP	本装置が DHCP クライアントとして動作しているときに点灯 (緑色) します。 本装置が DHCP クライアントとして IP アドレスの取得ができなかった場合、もしくは、固定で IP アドレスを設定している場合、消灯します (IP アドレスの取得ができなかった場合は、IP アドレスは 192.168.0.2 が設定されます)。 本装置の IP アドレスが、他の機器と重複している場合、点滅します (IP アドレスが重複した場合は、本装置と PC を直結して NetworkHDD Setup ユーティリティで、IP アドレスの変更を行ってください)。
Lan	通常動作時、データが LAN 経由で転送または受信されたときに点灯します。
Disk	本装置にアクセス (読み取りまたは書き込み) があるときに点灯します (起動時はしばらく点灯したままになります)。
Disk Full	通常は消灯です。 ハードディスクの使用率が 98% を超えると点滅します。 空きハードディスク容量がなくなると点灯します。

Error

(橙色) 通常は消灯です。

自己診断時に点灯します。自己診断が完了すると消灯します。

ソフトウェアのアップグレード中は、Ready LED と Error LED がともに点滅します。

各ステータス LED の表示組み合わせによる装置の状態は、次の表のとおりです。

状態	Ready	Disk Full	Error	備考
起動失敗	点灯	点灯	点灯	強制電源断（電源スイッチ 4 秒長押し）後、再起動してください。
起動時ファイルシステムチェック	点滅	点滅	消灯	異常終了後の起動ではチェックに数時間かかる場合があります。
正常起動	点灯	消灯	消灯	
シャットダウン中	点滅	消灯	消灯	
スキャンディスク中	点滅	点滅	消灯	
データバックアップ中	点滅	点滅	消灯	
データ消去中	点滅	消灯	点滅	
Disk 使用領域 98% 以上	点灯	点滅	消灯	

重要

Error LED が点灯したままの状態が続く場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へご連絡ください。

ブザー

ブザーは、次のように鳴動します。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 回 | 電源スイッチが押されたときに鳴ります。 |
| 2 回（5 秒おきに 4 回繰り返し） | 本装置は、DHCP クライアント設定でご使用の場合に、DHCP サーバがこの DHCP クライアントの要求に応答しない場合に鳴ります。 |
| 3 回（15 秒おきに 3 分間繰り返し） | ハードディスクの使用量が 98% を超えると鳴ります。 |
| 5 回（15 秒おきに 3 分間繰り返し） | オーバーヒートです。最初のブザーの 3 分後に自動的にシャットダウンが始まります。 |
| 連続（ピー、ピー、…） | どちらか一方のハードディスクに異常があった場合に、ブザーが鳴り続けます。
スベアディスクの電源を OFF にするとブザーは止まります。 |

2

第 2 章 設置と初期設定

1 FMHD-12LR の設置	20
2 セットアップ手順	21

1 FMHD-12LR の設置

1 スペアディスクをセットします。

1. スペアディスク 2 台を鍵穴を右側にして、本体のスロットへ差し込みます。
2. 鍵をロックします。

2 LAN ケーブルを接続します。

- ・ LAN ケーブルで、本装置をお使いの PC またはハブに接続します。富士通製別売カテゴリ 5 ツイストペアケーブルをお使いください。
- ・ 本装置は、10Base-T と 100Base-TX、全二重と半二重を自動的に認識します。



重要

LAN ケーブルを接続するときは、必ず本装置の電源を切ってください。
電源を切らずに接続すると、誤動作の原因となります。

3 電源を接続します。

1. 付属の電源ケーブルを使用し、電源コンセントに接続します。
2. 背面の電源スイッチをオンにします（スイッチを一度押して手を離します）。

4 起動プロセスをチェックします（通常は約 40 秒で起動します）。

1. 電源投入直後、RAID の LCD パネルに「Welcome RAID」「Vx.xx.xx」が表示され、次に LCD 表示部が「Disk1:OK」「Disk2:OK」に変わり、スペアディスク 2 台の LED ランプが点灯します。
2. 自己診断中（2 ～ 3 秒）に Ready、Error、Disk Full の各 LED が点灯します。
3. 次に、本装置の起動中に Ready LED と Disk Full LED が点滅します。
4. 起動プロセスが完了すると、Ready LED が点灯、Error LED が消灯します。

POINT

停電や強制的な電源切断後の起動の場合にはディスクチェックを行うため、起動に時間がかかることがあります。また、初期状態では IP アドレスは DHCP サーバから取得する設定のため、ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合には、起動に約 80 秒かかります。

POINT

DHCP サーバが存在しない場合には、IP アドレスはデフォルト値の 192.168.0.2 に設定されます。

2 セットアップ手順

基本的な操作の場合、次の手順で設定が完了します。
本装置の管理の詳細な設定に関しては、「第3章 運用と管理」を参照してください。

2

ソフトウェアのインストール

- 1 お使いの PC の CD-ROM ドライブに付属 CD-ROM を挿入します。
- 2 **NetworkHDD Setup** ユーティリティのインストーラーが自動的に起動します。
(**NetworkHDD Setup** ユーティリティが自動的に起動しない場合は、ルートディレクトリの **SETUP.EXE** を実行します。)
- 3 画面に従い、**NetworkHDD Setup** ユーティリティをインストールします。

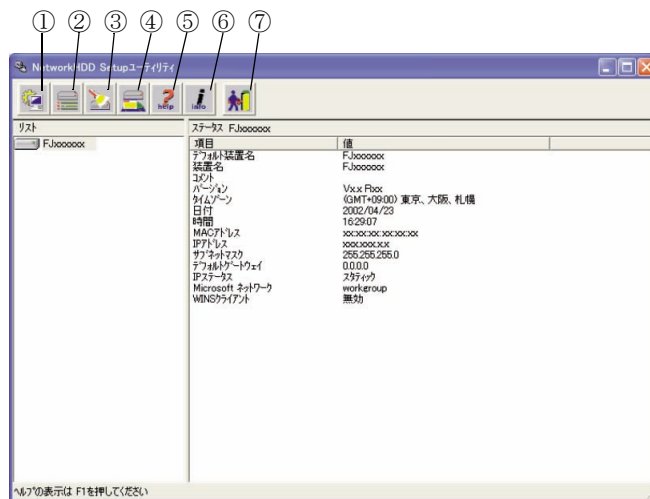
NetworkHDD Setup ユーティリティの使用によるセットアップ

1 プログラムを起動します。

デフォルトインストールの場合、[スタート] → [プログラム] → [NetworkHDD] → [NetworkHDD Setup ユーティリティ] を実行します。

2 画面が次の例のように表示されます。

左側のパネルにすべての本装置の装置名が一覧表示されます。右側のパネルには、現在選択されている装置の情報が表示されます（本装置の装置名が一覧表示されない場合は、「第7章 トラブルシューティングとFAQ」を参照してください）。



- ①基本設定 本装置の基本設定を行います。装置名、IP アドレスの設定など、基本的な設定を行うことができます。
- ②リフレッシュ 再度検索し、ネットワーク上のすべての本装置を表示します。
- ③検索 リストにない本装置を検索します。この機能は、ルータが設置されていて、LAN内に複数のセグメントが存在するネットワーク用に用意されています。
- ④管理（Web ブラウザ） Web ブラウザを起動し、本装置の詳細設定を行うことができます。
- ⑤ヘルプトピックの表示 ヘルプを表示します。
- ⑥バージョン情報 バージョン情報（NetworkHDD Setup ユーティリティのバージョン）を表示します。
- ⑦終了 このアプリケーションを終了します。

3 左側のパネルでセットアップする本装置の装置名が選択されていることを確認し、①の【基本設定】アイコンをクリックします。

4 設定画面が次のように表示されます。



5 この画面で次のように設定します。

■装置関連

装置名 現在の装置名が表示されています。必要に応じてこれを変更できます。

重要

同一ネットワーク内に同じ名前の装置名を使わないでください。

コメント コメント（本装置の場所など）はオプションです。

タイムゾーン 一覧からタイムゾーンを選択します。

日付 / 時間 日付と時間を入力します。

■ TCP/IP 関連

自動的に IP アドレスを取得する (DHCP クライアント) LAN 内に DHCP サーバがある場合は、この設定を有効にできます。これにより本装置は、DHCP サーバから IP アドレスを取得します。LAN 内に DHCP サーバがない場合は [IP アドレスを指定する] を選択してください。

IP アドレスを指定する このオプションを選択して IP アドレスを入力します。

IP アドレス LAN 内のホストが使用できる IP アドレスの範囲の中から、自由に IP アドレスを入力します。本装置のデフォルト IP アドレスは、192.168.0.2 です。

サブネットマスク LAN 内の他のホストと同じ値を使用します。本装置のデフォルト値は、255.255.255.0 です。

ゲートウェイ LAN 内の他のホストと同じ値を使用します。ルータまたはインターネットゲートウェイがない場合は、ここはデフォルト値 (空白) のままとします。

■ Microsoft ネットワーク関連

ワークグループ名 通常このワークグループ名は、LAN 内のコンピュータが使用するワークグループ名と同じにします。

WINS を有効にする LAN に WINS (Windows Internet Name Service) サーバがある場合、チェックします。

WINS サーバ WINS サーバの IP アドレスを入力します。通常は Windows NT Server が動作するシステムです。

6 [OK] ボタンをクリックして設定を保存し、**NetworkHDD Setup** ユーティリティを終了します。本装置はこれで動作します。

7 アカウントの作成、共有フォルダの作成には **Web ブラウザベースの Web Setup** ユーティリティを使用します。これは **NetworkHDD Setup** ユーティリティのメイン画面の④の [管理 (Web ブラウザ)] ボタンで起動できます。**Web Setup** ユーティリティについては「第 3 章 運用と管理」を参照してください。

3

第 3 章 運用と管理

1 概要	26
2 Web Setup ユーティリティ	27
3 Web Setup ユーティリティのメニュー	30
4 Web Setup ユーティリティの Basic（基本設定）メニュー	31
5 Web Setup ユーティリティの Basic（基本設定）項目	32
6 Web Setup ユーティリティの Advanced メニュー	39
7 Web Setup ユーティリティの Advanced 項目	42
8 RAID サブシステムの保守	67
9 設定例	73

1 概要

管理者は、アカウント、グループ、共有フォルダを作成、管理することで、本装置の利用を管理できます。

アカウント	アカウントは、本装置を利用できるユーザです。
グループ	グループは、アカウントで編成されます。アカウントは、複数のグループに所属できます。
共有フォルダ	共有フォルダは、アカウント / グループがアクセスできる本装置のフォルダ（ディレクトリ）です。管理者のみが共有フォルダを作成できます。共有フォルダ内では、その共有フォルダへアクセスできるアカウントであれば他のフォルダ（ディレクトリ）やファイルを作成できます。
アクセス権	共有フォルダへのアクセスは、「読み取り専用 :Read-only」または「読み書き :Read-Write」です。管理作業を軽減するため、共有フォルダへのアクセスは個々のアカウント単位ではなく、グループ単位に設定できます。

共有フォルダには 1 つのグループからのみアクセスできますが、グループは複数の共有フォルダにアクセス可能です。

admin アカウントや **administrator** グループに追加されたその他のアカウントは、常にすべての共有フォルダとフォルダに対する「読み書き :Read-Write」のアクセスが可能です。

2 Web Setup ユーティリティ



アカウントの作成、管理は、Web ブラウザを使用した Web Setup ユーティリティでできます（「admin」アカウントのみ可能）。

Web ブラウザは、JavaScript 1.1 をサポートしていなければなりません。次の Web ブラウザがテスト済みです。

- ・ Netscape Navigator 4.78、6.2
- ・ Internet Explorer 5.5SP2、6.0SP1

3

FMHD-12LR への接続

■ NetworkHDD Setup ユーティリティを使用する場合

- 1 NetworkHDD Setup ユーティリティを起動し、本装置の装置名を選択します。
- 2 「管理（Web ブラウザ）」 ボタンをクリックします。
- 3 次にウェルカム画面が表示され、Web Setupユーティリティが起動します。

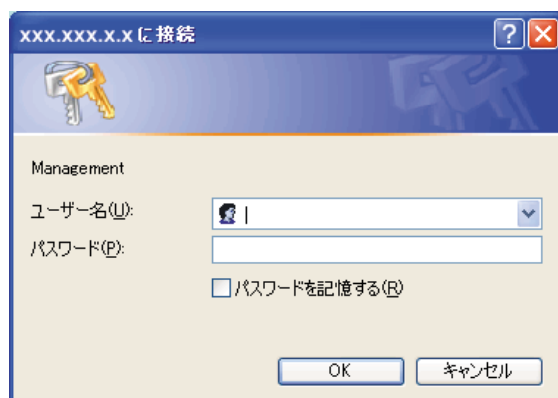


POINT

Web ユーティリティで初期画面が表示されない場合は、プロキシサーバ内でご利用の場合でも「プロキシサーバを使用しない」に本操作をするときのみ設定変更してください。

4 [アドミニストレーション] ボタンをクリックします。

5 次のようにパスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。



[ユーザ名] に admin と入力します。デフォルトでは admin ユーザにパスワードはありませんが、パスワードを設定している場合は、ここで変更後のパスワードを入力します。

POINT

Web Setup ユーティリティによる設定は「admin」アカウントおよび administrator 権限をもったアカウントができます。他のアカウントでは Web Setup ユーティリティに入ることができません。

6 [ユーザ名] [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックして **Basic 設定 / Advanced 設定**メニューに進みます。詳細は、次の「3 Web Setup ユーティリティのメニュー」を参照してください。

■ NetworkHDD Setup ユーティリティを使用しない場合

1 Web ブラウザを起動します。

2 [アドレス] ボックスに次のように入力します。

http://<ip_address>/

<ip_address> には、本装置の IP アドレスを指定します。

例：http://192.168.0.2/

POINT

大文字と小文字は区別されますので、正確に入力してください。

3 次にウェルカム画面が表示され、Web Setup ユーティリティが起動します。

4 [アドミニストレーション] ボタンをクリックします。

5 上記の「NetworkHDD Setup ユーティリティを使用する場合」の手順 5 に示すように、パスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。

[ユーザ名] に admin と入力します。デフォルトでは admin アカウントにパスワードはありませんが、パスワードを設定している場合は、ここで変更後のパスワードを入力します。

ウェルカム画面の「共有フォルダ／ファイルの参照」および「アカウントパスワードの変更」については、第 5 章を参照ください。

3 Web Setup ユーティリティのメニュー



Basic 設定 [基本設定]

■ 基本的な設定を行います。

- ・ アカウント作成、共有フォルダ作成、アクセス権設定、Admin パスワード設定、Admin 権限設定

Advanced 設定 [システム] [ステータス] [共有設定] [ユーティリティ]

■ 詳細な設定を行います。

- ・ ネットワーク設定、システム設定、ユーティリティ、ステータス表示、アカウント設定、共有フォルダ設定、グループ設定 など

4 Web Setup ユーティリティの Basic（基本設定）メニュー

Basic（基本設定）メニューは、5つの項目から構成されています。アクセスの環境を整える「アカウント作成」「共有フォルダ」「アクセス権限」と、管理者関連の設定を行う「Admin パスワード」「Admin 権限」があります。

3

Basic（基本設定）概要

本装置をご利用する際の基本となる設定を行います。

アカウント作成 —— アカウントを作成します。

共有フォルダ —— 共有フォルダを作成します。

アクセス権限 —— 作成済みのアカウントと共有フォルダのアクセス権を設定します。

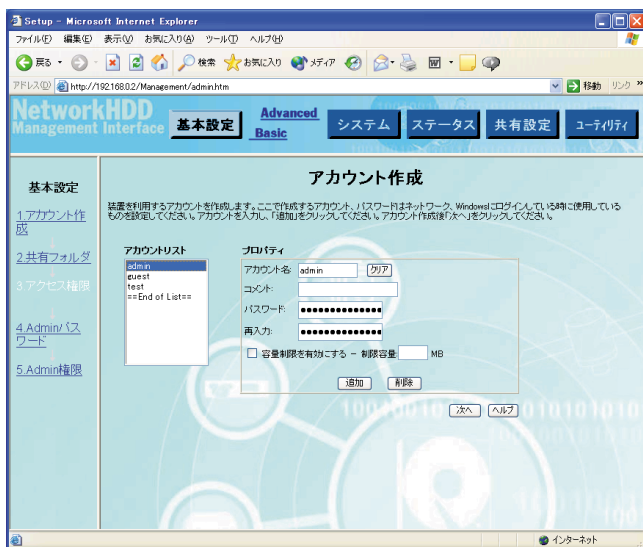
Admin パスワード —— “Admin” のパスワードを変更します。

Admin 権限 —— Administrator 権限を持つアカウントを設定します。

5 Web Setup ユーティリティの Basic (基本設定) 項目

1. アカウント作成

アカウントの作成、削除を行うことができます。



アカウントリスト

全アカウントを左側にリスト表示します。
"admin" と "guest" は常に存在し、削除することはできません。

プロパティ

左のリストで選択したアカウントの情報を表示します。
新規に追加する場合は、この欄に入力して、「追加」ボタンをクリックします。

出荷時に次のアカウントが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

admin

admin は、administrator グループのアカウントであるため、すべての共有フォルダに「読み書き :Read-Write」のアクセス権があります。
デフォルトでは、パスワードがありませんが、[4. Admin パスワード] で設定できます。パスワードを設定することをお勧めします。

guest

guest アカウントは、everyone グループのアカウントであるため、everyone グループのアクセス権を持ちます。

■新しいアカウントの追加

プロパティに他の情報が入力されている場合は、「クリア」ボタンをクリックし、プロパティ画面を空白にします。

アカウント名	アカウント名を入力します。句読点、特殊文字（例：*/ ¥）、2 バイト文字（日本語等）、半角カタカナは、使用できません。
コメント	（オプション） 必要であれば入力してください。
パスワード	このアカウントのパスワードを入力します。[再入力] にも同じパスワードを入力します。

これらを入力し、[追加] ボタンをクリックして内容を保存します。作成されたアカウントは、左側のリストに表示されます。

POINT

アカウント名、パスワードは、パソコンでネットワークにログインするときにお使いのものと同一にする必要があります。

■アカウントの削除

左のリストから削除するアカウントを選択し「削除」ボタンをクリックします。

■容量制限機能

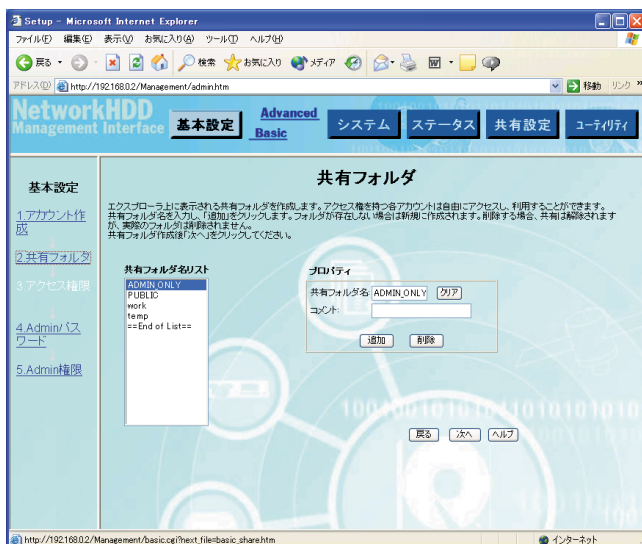
アカウントプロパティの [容量制限を有効にする] のチェックボックスをチェックし、容量を入力し、[作成] ボタンにより、容量制限機能が有効になります。

POINT

admin と *guest* は削除できません。

2. 共有フォルダ

ここでは、共有フォルダの作成、削除を行うことができます。



- ・作成した共有フォルダに対してアクセス権を持つアカウントは、その下にフォルダやファイルを作成することができます。
- ・「共有フォルダ」は、アカウントがアクセス可能な本装置上の共有フォルダです。

共有フォルダ名リスト 左側にすべての共有フォルダがリスト表示されます。

プロパティ リストから選択した共有フォルダのプロパティが表示されます。

出荷時に次の共有フォルダが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

ADMIN_ONLY ルートフォルダです。Administrator 権限を持ったアカウントがこのフォルダのコンテンツをバックアップすることで、すべてのデータがバックアップできます。

administrator グループは、常にこの共有フォルダに対する「読み書き : Read-Write」のアクセス権を持ちます。

本装置のフォルダおよびファイルを削除する場合は、Administrator 権限を持ったアカウントが、このフォルダからフォルダおよびファイルを削除できます。

PUBLIC ADMIN_ONLY 下のフォルダです。すべてのアカウントが常にこの共有フォルダに対する「読み書き : Read-Write」のアクセス権を持ちます。

■新しい共有フォルダの作成

以下の内容を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

共有フォルダ名	共有フォルダの名前を入力します。句読点、特殊文字（例：*/ ¥）、2 バイト文字（日本語等）は、使用できません。また次の名前は使用できません。 homes、global、printers
コメント	（オプション） 必要であれば入力してください。

POINT

文字制限

本装置では、共有フォルダ内に作成されるファイル名、フォルダ名の半角で 126 文字となります。また、パス全体の最大長は ASCII 文字の場合で 255 文字となります。

ファイル属性の継承

本装置では、フォルダの属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）は継承されません。また、ファイル名の属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）については次のとおりです。

読み取り専用、隠しファイル属性：継承されません

アーカイブ、システム属性：継承されます（属性の変更はそのファイルの所有者のみが可能）

通常、ファイルの所有者は装置にそのファイルを保存したユーザになります。

■共有フォルダの削除

選択された共有フォルダを「削除」ボタンをクリックして削除します。

共有フォルダ設定は削除されますが、共有フォルダに設定されていたフォルダおよびフォルダ内のファイルは削除されません。フォルダおよびファイルを削除する場合は、Administrator 権限を持ったアカウントが、ADMIN_ONLY フォルダから行ってください。

重要

データが削除されますので注意してください。

POINT

次の場合、「アクセス権限」に移動することはできません。

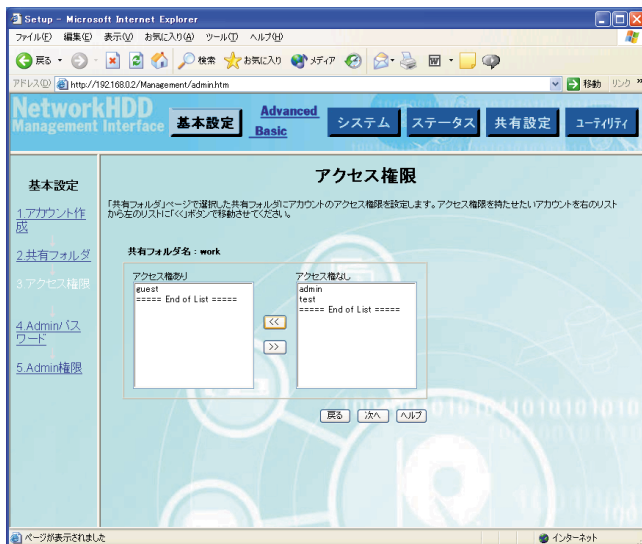
- ・ ADMIN_ONLY を選択した場合
- ・ Advanced 設定ページから、選択した共有名と同名のグループとの関連付けが、外されている場合

POINT

Advanced 設定ページで複数のグループとの関連付けが行われている場合、「アクセス権限」で表示・設定する内容は、その共有名と同じ名前のグループに関してのみです。

3. アクセス権限

作成したアカウントと共有フォルダとを関連付けます。



共有フォルダ名

選択した共有フォルダ名が表示されます。この名前は、関連付けされているグループとも同じ名前です。

アクセス権あり

アクセス権のあるアカウントをリスト表示します。

アクセス権なし

アクセス権のないアカウントをリスト表示します。

■ アクセス権設定操作

アクセス権の追加

右側のリストからアカウントを選択し「<<」ボタンをクリックします。読み書きの権利が与えられます。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

アクセス権の削除

左側のリストからアカウントを選択し「>>」ボタンをクリックします。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

4. Admin パスワード

ここでは、"Admin" のパスワードを変更します。

POINT

Admin は、この Web Setup ユーティリティにログインする際の特別なアカウント名です。



デフォルトではパスワードは設定されていません。

パスワードを設定し、不正にアクセスされないようにしてください。

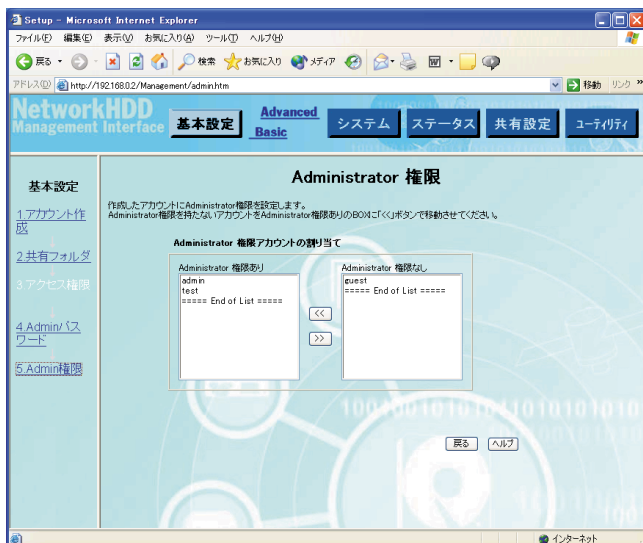
現在のパスワード、新しいパスワードを2回入力します。新しいパスワードを設定した場合は、設定が変更されているため、再ログイン画面が表示されますので、そこで、再度パスワードを入力する必要があります。

"パスワードなし" の場合は、空欄のままにし、「保存」ボタンをクリックします。

5. Admin 権限

Administrator 権限を持つアカウントの設定を行います。

Administrator 権限を持つと、すべてのフォルダに「読み書き」権限でアクセスすることができます。



アクセス権の追加

右側のリストからアカウントを選択し「<<」ボタンをクリックします。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

アクセス権の削除

左側のリストからアカウントを選択し「>>」ボタンをクリックします。複数選択する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

POINT

Administrator 権限を持つと、Web Setup ユーティリティにログインできるアカウントとなります。

6 Web Setup ユーティリティの Advanced メニュー

3

Advanced のメインメニューは、4 つの設定カテゴリから構成されています。

- ・ システム
- ・ ステータス
- ・ 共有設定
- ・ ユーティリティ

設定項目概要

◆ システム

■ システム設定

- ・ 本装置の名前、タイムゾーン、日付、時刻を設定します。

■ TCP/IP 設定

- ・ IP アドレス IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
- ・ DNS DNS (Domain Name System) の IP アドレスを設定します。

■ MS ネットワーク

- ・ Microsoft ネットワークを設定します。ワークグループ名、言語 (コードページ)、WINS (Windows Internet Name Service) を設定します。

■ FTP 設定

- ・ FTP の設定をします。

■ E-Mail 通知

- ・ 問題があるときに電子メールでメッセージが送信されるように本装置を設定します。

■ シャットダウン

- ・ 本装置をシャットダウンするか、シャットダウンのスケジュールを作成します。

■ NTP 設定

- ・ NTP (Network Time Protocol) を設定します。

◆ステータス



■ ディスク情報

- ・ ディスク使用量をチェックします。この情報は参照のみです。

■ システム情報

- ・ システムの状態をチェックします。この情報は参照のみです。

■ 接続情報

- ・ MS-Network の接続情報を表示します。この情報は表示のみです。

◆共有設定



このオプションを使用して共有、アカウント、グループ、共有フォルダへのアクセスを管理します。詳細については、P.42 「7 Web Setup ユーティリティの Advanced 項目」を参照してください。

■ グループ設定

- ・ 現在のグループを参照し、グループの共有フォルダへのアクセスを修正し、グループに対してアカウントを追加または削除します。また、新しいグループを作成したり、既存のグループを削除します。

■ アカウント設定

- ・ 既存アカウントの一覧を参照し、アカウントの情報を修正します。また、アカウントを作成、削除します。
ここで、アカウントごとの容量制限機能の設定も行うことができます。

■ 共有フォルダ

- ・ 共有フォルダを作成、削除、修正します。「共有フォルダ」とはアカウントがアクセスできるフォルダ（ディレクトリ）です。アクセス権は個々のアカウントに対してではなく、グループに対して設定できます。

■ GUEST 設定

- ・ 登録されていないアカウントを「guest」としてログインさせます。
（「guest」にパスワード設定されていない場合のみ有効です。）

POINT

- ・ guest と admin の 2 つのアカウントは、削除できません。
- ・ admin アカウントは、既存の administrator グループから削除または移動することはできません。
- ・ デフォルトでは admin アカウントにパスワードがありません。パスワードを設定することをお勧めします。
- ・ admin アカウントと他のすべての administrator グループのアカウントには、常にすべての共有フォルダおよびフォルダに対する読み取り / 書き込みの権利があります。
- ・ 容量制限機能とは、アカウントの使用容量を制限することができる機能です。

3

◆ユーティリティ



これらのユーティリティは、通常の操作では必要ありません。

■ ディスク

- ・ ディスクエラーのチェック機能です。

■ アップグレード

- ・ 本装置のファームウェアをアップグレードします。

■ 設定バックアップ

- ・ 設定情報をバックアップします。

■ インポート

- ・ アカウントデータをインポートします。

■ データバックアップ

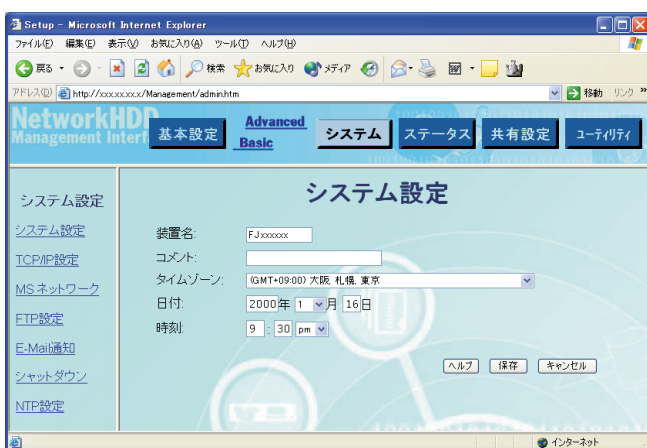
- ・ 本装置のデータを LAN 上の他装置にバックアップします。

7 Web Setup ユーティリティの Advanced 項目



システム設定グループ

[システム設定]



本装置の基本設定を行います。本装置の装置名、タイムゾーン、日付、時刻を設定します。ファイルを正しいタイムスタンプで保存するためには、正しい日付と時刻を設定してください。

設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

■入力可能文字数・制限

装置名には、14byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字、およびすべてが数字の装置名は除きます。

"/ ¥ [] : ; | = . , + * ? < > space ' ` () # \$ %

コメントには、48byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字は除きます。

" ¥ : | , '

[TCP/IP 設定]



TCP/IP ネットワーク関連情報を設定します。
設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

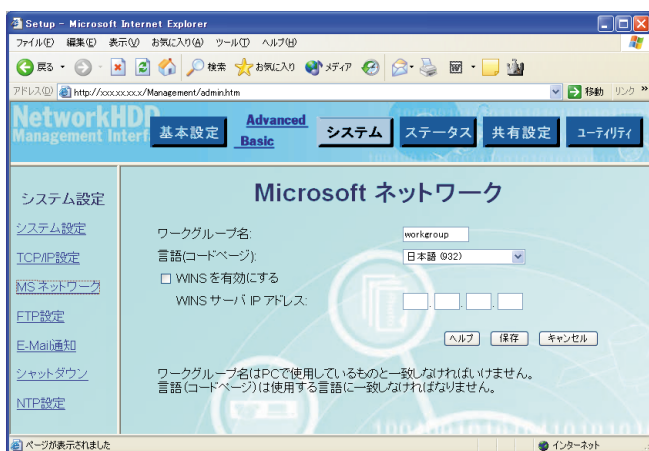
IP アドレス

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

DNS サーバ

DNS (Domain Name System) サーバの IP アドレスを設定します。システム設定で、「E-Mail 通知」を有効にしている場合には、少なくとも 1 つの DNS アドレスを入力してください。それ以外の場合には、空白でも構いません。複数の DNS アドレスが登録されている場合は、最初に検出された DNS が使用されます。

[Microsoft ネットワーク]



Microsoft ネットワーク設定を行います。ワークグループ名、言語（コードページ）を設定します。WINS（Windows Internet Name Service）がある場合、「WINS を有効にする」をチェックし、WINS を設定します。

設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

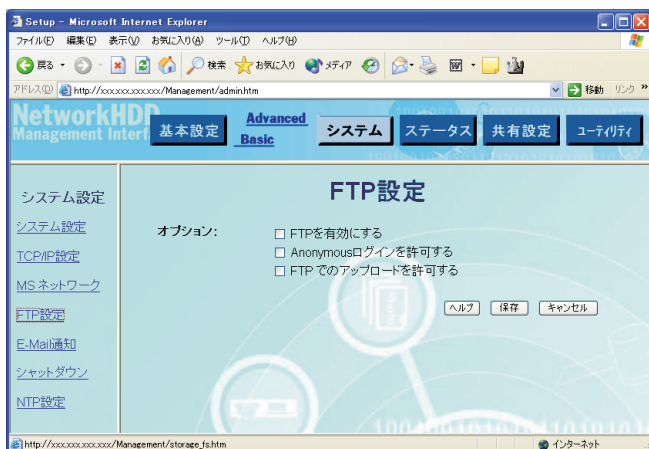
■入力可能文字数・制限

ワークグループ名には、14byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字は除きます。

" / \ [] ; | = . , + * ? < >

[FTP]

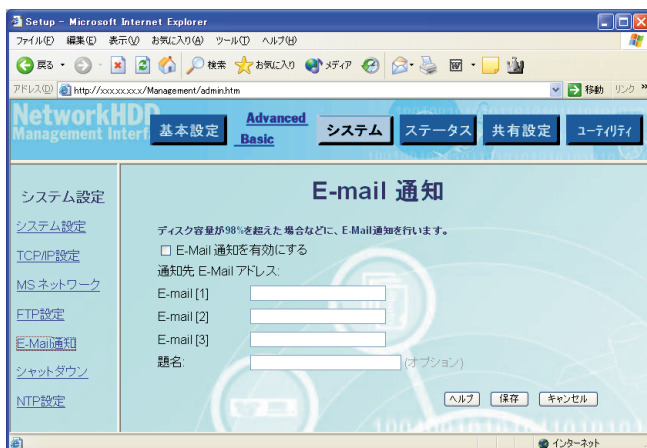


以下の FTP の設定を行います。

- ・ FTP でデータ転送を許可する場合「FTP を有効にする」をチェックします。
- ・ Anonymous ユーザのログインを許可する場合「Anonymous ログインを許可する」をチェックします。

- ・本装置に FTP でデータのアップロードを許可する場合「FTP でのダウンロードを許可する」をチェックします。

[E-Mail 通知]



問題があるときに、本装置から電子メールでメッセージが送信されるように設定します。設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

[E-Mail 通知] を有効にすると、以下の状態のときに電子メールが送信されます。

- ・ ディスク使用容量が 98% を越えた場合
- ・ 温度異常により、シャットダウンが実行された場合
- ・ スキャンディスク実行中にエラーが発生した場合
- ・ ファームウェアのアップグレードを行った場合
- ・ アカウント情報のインポートに失敗した場合
- ・ データバックアップ機能でバックアップ時にコピーが失敗した場合

送信側となる本装置のアドレスは、`administrator@<ip_address>` です。

またデフォルトの表題はありませんので、記入しない場合は表題なしのメールが届きます。

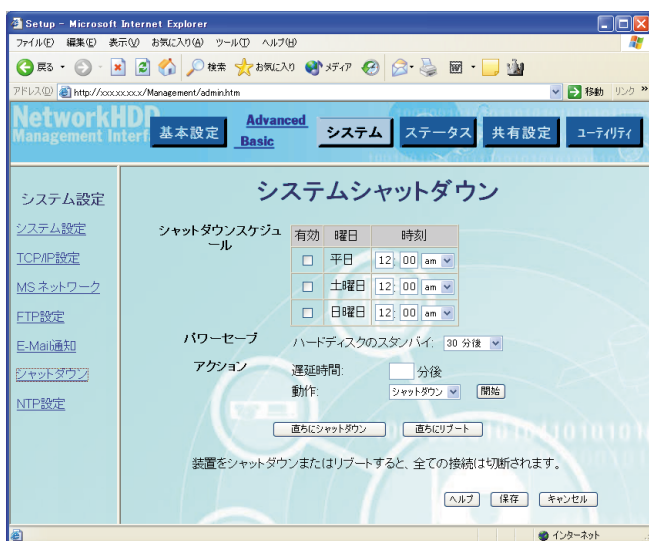
■ 入力可能文字数・制限

アドレスには、48byte までの E-mail アドレス（ASCII 文字）が使用可能です。

ただし以下の文字は除きます。

" / ¥ [] : ; | = , + * ? < > ' `

[シャットダウン]



本装置のリブートまたはシャットダウンを行います。また、シャットダウンスケジュールを設定できます。シャットダウンを行った場合は、本装置背面の電源スイッチによって起動します。設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

シャットダウン
スケジュール

シャットダウンを行うかどうか、行う場合の曜日や時間を指定します。平日（月曜日～金曜日）、土曜日、日曜日に分けて、それぞれ設定できます。

パワーセーブ

特定時間ハードディスクへのアクセスが無い場合、ハードディスクのモータの回転を止めるように設定できます。この設定をする場合は、リストから時間を選択してください。「なし」を選択した場合、常時ハードディスクのモータが回転しています。

直ちにシャットダウン
／直ちにリブート

本装置のシャットダウン／リブートを行います。これらのボタンをクリックしても設定の保存は行われません。

■装置のシャットダウン

次のいずれかの方法でシャットダウンできます。

- ・ 背面にある電源スイッチを一度押します。
- ・ [システム] → [シャットダウン] メニューを使用して、リモートのシャットダウン、またはスケジュールされたシャットダウンを行います。

POINT

シャットダウン中は、Ready LED が点滅します。

[NTP 設定]



NTP（Network Time Protocol）サーバによって時刻同期を行います。設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

POINT

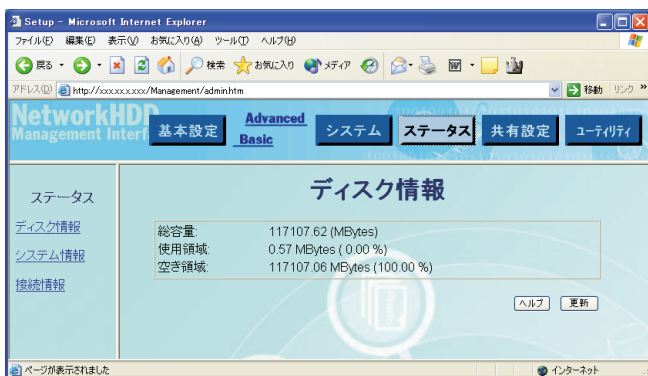
LAN 内またはファイアーウォール内に NTP サーバがない場合は時刻同期ができないことがあります。

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| NTP サーバアドレス | 設定する NTP サーバのアドレスを入力します。 |
| 開始時刻 | NTP サービスを開始する時刻を設定します。 |
| 同期する間隔 | 前回の NTP サービスから次に行うまでの間隔を設定します。 |
| ただちに同期 | ただちに時刻の同期をとります。 |
| ステータス | “ただちに同期” ボタンをクリックした結果を表示します。 |



ステータス

[ディスク情報]



現在のディスクの状態が表示されます。

■ ディスク情報

- | | |
|------|----------------------------------|
| 総容量 | ユーザが使用可能なディスクスペースの総容量が表示されます。 |
| 使用領域 | ユーザデータにより使用されているディスクスペースが表示されます。 |
| 空き領域 | ユーザが使用可能な空きディスクスペースが表示されます。 |

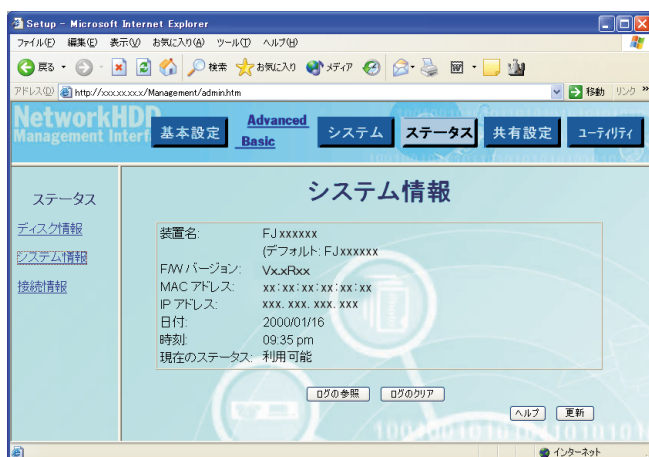
POINT

利用開始時は、以下のように表示されます。

容量は $1\text{MB}=1024 \times 1024\text{Byte}$ 換算のため 120GB より少なく表示されます。

- | | |
|------|-------------------|
| 総容量 | 約 117000 (MBytes) |
| 使用領域 | 約 0.5 (MBytes) |
| 空き領域 | 約 117000 (MBytes) |

[システム情報]



本装置の現在の状態が表示されます。

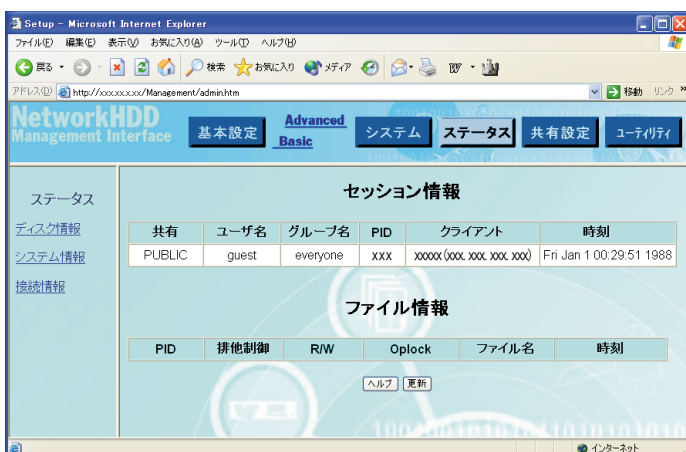
■ システム情報

現在の装置名	システム設定で入力された現在の名前です。変更していなければ、デフォルト装置名と同じです。
デフォルト装置名	出荷時の名前です。
F/W バージョン	本装置にインストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。
MAC アドレス	本装置のネットワークアダプタの MAC アドレスが表示されます。
IP アドレス	本装置が使用する IP アドレスが表示されます。
日付	本装置に記憶されている現在の日付が表示されます。
時刻	本装置に記憶されている現在の時刻が表示されます。
現在のステータス	現在の本装置の状態が表示されます。

■ ログの参照、クリア

ログの参照	ログの参照ボタンをクリックすると別のウィンドウが表示され、システムログが表示されます。トラブルシューティングのために用意されています。
ログのクリア	ログのクリアボタンをクリックすると、ログが消去されます。

[接続情報]



MS-Network により接続している PC の情報、およびオープンしているファイルの情報を表示します。FTP で接続しているユーザは表示されません。

■ 接続情報

接続情報

接続情報ボタンをクリックすると、本装置にアクセスしているクライアントのセッション情報、ファイル情報が表示されます。

更新

更新ボタンをクリックすると、アップデートされたデータが表示されます。

■ セッション情報

共有

アクセスしている共有を表示します。

ユーザ名

共有にアクセスしているユーザを表示します。

グループ名

ユーザが所属しているグループ名を表示します。

PID

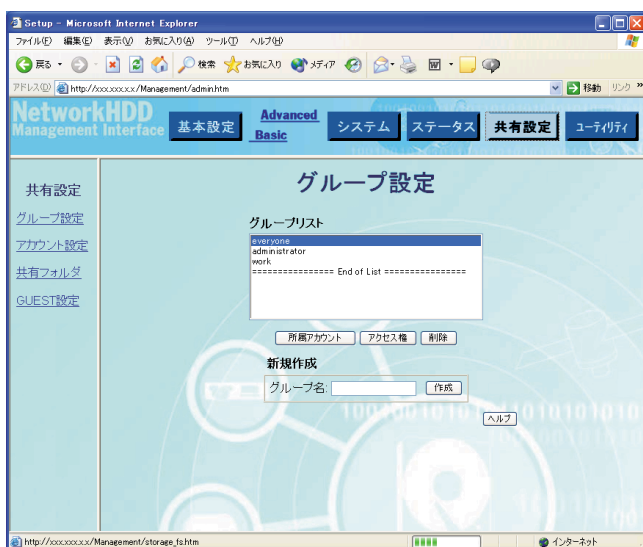
接続のプロセス ID を表示します。

クライアント	クライアントのホスト名と IP アドレスを表示します。
時刻	クライアントがログインした時刻を表示します。
■ ファイル情報	
PID	接続のプロセス ID を表示します。
排他制御	排他制御の状態を表示します。 • DENY_NONE 他のファイルアクセスを拒否しません。 • DENY_ALL すべてのファイルに対するアクセスを拒否します。 • DENY_READ ファイルに対する read-only アクセスを拒否します。 • DENY_WRITE ファイルに対する write-only アクセスを拒否します。 • DENY_DOS 読み込み権限でアクセスした場合、他のすべてのファイルについても読むことができますが書き込みはできません。書き込み権限でアクセスした場合、他のすべてのファイルにアクセスできません。 • DENY_FCB 不要です。
R/W	ファイルアクセスの種類を表示します。 • RDONLY 読み込みのみ可能 • WRONLY 書き込みのみ可能 • RDWR 読み書き可能
Oplock	便宜的ロック： • Exclusive 有効であるとき、ファイルをオープンしている 唯一のクライアントであることを示します。ファイル（内容や属性）が変化し、装置にアップデートする際、ファイルがクローズするまでに得られたすべてのファイル情報、または上記のローカル情報の実行を許可します。 • Batch ファイルをオープンしている唯一のクライアントであることを示します。キャッシュや先読みしたローカル情報のすべてのファイル操作の実行を許可します（オープン、クローズを含む）。 • LEVEL_II ファイルに複数のアクセスがあり、修正が行われていないことを示します。クライアントにキャッシュか先読みによる、ローカル情報のファイルの読み込みと属性の取得を許可します。しかしその他のリクエストは装置に送らなければなりません。 • NONE ロック無し。
ファイル名	ロックされているファイルを表示します。
時間	ファイルがロックされた時間を表示します。



共有設定グループ

[グループ設定]



グループを管理します。

現在のグループを参照し、グループの共有フォルダへのアクセスを修正し、グループに対してアカウントを追加または削除します。また、新しいグループを作成し、既存のグループを削除します。

グループリスト

すべてのグループがリスト表示されます。

everyone と administrator の2つのグループは常に存在し、削除できません。

出荷時に次のグループが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

everyone

このグループは、削除できません。

全アカウントがこのグループのメンバであり、このグループから除外できません。

administrator

このグループは、削除できません。

常にすべての共有フォルダに対する「読み書き :Read-Write」のアクセス権をもちます。

admin アカウントは、このグループから削除できませんが、他のアカウントを追加、削除できます。

POINT

作成グループ最大数 255 (administrator、everyone 含む)

■新しいグループの作成

「グループ設定」画面で新規作成の下のグループ名の所へ作成したいグループ名を入力、「作成」ボタンをクリックします。

ここで新しく作成したグループは、アカウントの割り当てや共有フォルダの関連付けがされていません。「所属アカウント」ボタンでアカウントを関連付けることができます。また、次に説明する「アカウント設定」「共有フォルダ」画面で、それぞれ関連付けを行うことができます。

■入力可能文字数・制限

グループ名には、20byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字は除きます。

" / ¥ [] : ; | = . , + * ? < > ' ` \$ % @

■「所属アカウント」「アクセス権」「削除」「作成」ボタン

所属アカウントボタン 選択したグループに所属アカウントの関連付けをします。※

POINT

everyone グループは、常にすべてのアカウントに割り当てられ、グループの削除はできません。

アクセス権ボタン 選択したグループがどの共有フォルダへアクセスできるかを指定できます。
※
「<<Read」をクリックすると読み取り専用、「<<R/W」では読み書きのアクセス権で設定されます。

POINT

administrator グループは、すべての共有フォルダへアクセスできます。

削除ボタン 選択したグループを削除します。

作成ボタン このボタンを使用すると、グループを作成できます。

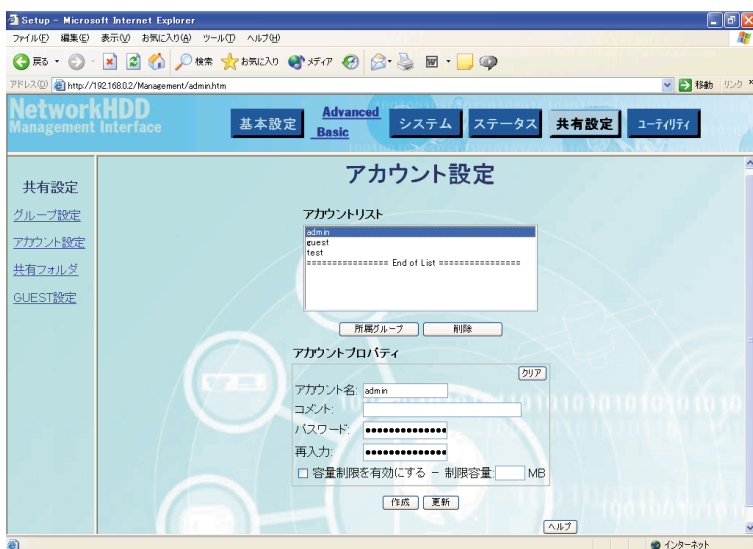
※ 所属アカウントの関連付け画面、グループアクセス権画面で複数追加、削除する場合は、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

■その他の機能（検索）

グループリスト上にカーソルを置き、キーボードの文字を押すと、その文字を頭文字として持つグループにジャンプします。



【アカウント設定】



既存アカウントの一覧を参照し、アカウントの情報を修正します。また、アカウントを作成、削除します。

アカウントリスト すべてのアカウントがリスト表示されます。
 admin と guest の2つのアカウントは常に存在し、削除できません。

アカウントプロパティ リストから選択したアカウントのプロパティが表示されます。

出荷時に次のアカウントが設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

admin	admin アカウントは、administrator グループのメンバーであるため、すべての共有フォルダに「読み書き :Read-Write」のアクセス権があります。 デフォルトでは、admin アカウントにはパスワードがありませんが、後で設定できます。パスワードを設定することをお勧めします。
guest	guest アカウントは、everyone グループのメンバーであるため、everyone グループのアクセス権を持ちます。

POINT

登録アカウント最大数 255 (admin、guest 含む)

■新しいアカウントの作成

新しくアカウントを作成する場合は「クリア」ボタンをクリックし、以下の項目を入力します。

アカウント名	アカウント名を入力します。句読点、特殊文字（例：*/ ¥）、2 バイト文字（日本語等）、半角カタカナは、使用できません。
コメント	（オプション） 必要であれば入力してください。
パスワード	このアカウントのパスワードを入力します。[再入力] にも同じパスワードを入力します。

これらを入力し、[作成] ボタンをクリックして内容を保存します。作成されたアカウントは、最初の画面の上側のアカウントリストに表示されます。

■アカウントの編集、削除

最初の画面の上側にあるアカウントリストでアカウント名を選択すると、そのアカウントのプロパティが下側に表示されます。選択したアカウントを削除、編集する場合は、それぞれ [削除] [更新] ボタンをクリックしてください。

POINT

admin と guest の 2 つのアカウントは、削除できません。

■容量制限機能

アカウントプロパティの [容量制限を有効にする] のチェックボックスをチェックし、容量を入力し、[作成] ボタンにより、容量制限機能が有効になります。

■ グループを関連付ける

選択したアカウントに対して、グループを関連付ける場合は「所属グループ」ボタンをクリックします。



このグループに選択したアカウントを追加するには、右のリストからグループを選択し、[<<] ボタンをクリックします。

既に所属しているグループから除外する場合は、左のリストからグループを選択し、[>>] ボタンをクリックします。

■ その他の機能（検索）

アカウントリスト上にカーソルを置き、キーボードの文字を押すと、その文字を頭文字として持つアカウントにジャンプします。

■ 入力可能文字数・制限

アカウント名には、20byte までの ASCII 文字が使用可能です。

ただし以下の文字を除きます。また、小文字のみ使用可能です（自動変換）。

" / ¥ [] : ; | = . , + * ? < > ' "

コメントには、48byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。

" ¥ : | , ' "

パスワードには、14byte までの ASCII 文字が使用可能です（スペースを含む）。



[共有フォルダ]



本装置の共有フォルダを管理します。「共有フォルダ」は、アカウントやグループがアクセスできるフォルダ（ディレクトリ）です。アクセス権は個々のアカウントに対してではなく、グループに対して設定します。

- ・ アカウントは、アクセス権を持つ共有フォルダに対して、フォルダやファイルを作成できます。
- ・ 複数のグループが、同じ共有フォルダへアクセス可能です。
- ・ 共有フォルダ内に共有フォルダが存在する場合、外側の共有フォルダへのアクセス権を持つアカウントは、内側の共有フォルダへ同じ権限でアクセスできます。

共有フォルダ名リスト すべての共有フォルダがリスト表示されます。

参照ボタン フォルダの中身を参照します。

削除ボタン 選択した共有フォルダを削除します。

アクセス権ボタン ユーザグループが選択した共有フォルダへのアクセス権を持つかどうか、またアクセス権限を表示します（読み取り専用 :Read-only か読み書き :Read-Write）。

プロパティ リストから選択した共有フォルダのプロパティが表示されます。

作成ボタン このボタンを使用すると、共有フォルダを作成できます。

更新ボタン このボタンを使用すると、共有フォルダ名を変更できます。

出荷時に次の共有が設定されています。これらは削除できず、修正も制限されています。

ADMIN_ONLY ルートフォルダです。管理者がこのフォルダのコンテンツをバックアップすることで、すべてのデータがバックアップできます。
administrator グループは、常にこの共有フォルダに対する「読み書き :Read-Write」のアクセス権を持ちます。

PUBLIC ADMIN_ONLY 下のフォルダです。すべてのアカウントが常にこの共有フォルダに対する「読み書き : Read-Write」のアクセス権を持ちます。

POINT

共有フォルダ最大数 255 (ADMIN_ONLY、PUBLIC 含む)

■新しい共有フォルダの作成

新しく共有フォルダを作成する場合は、共有フォルダのプロパティのクリアボタンをクリックし、以下の項目を入力します。

「共有フォルダ」は、アカウントやグループがアクセス可能な本装置上の共有フォルダです。本装置の **administrator** 権限を持ったアカウントだけが共有フォルダを作成できます。共有フォルダ内にアクセス権を持つアカウントは、フォルダやファイルを作成できます。

共有フォルダ名 共有フォルダの名前を入力します。句読点、特殊文字（例：* / | ¥）、2 バイト文字（日本語等）は、使用できません。また次の名前は使用できません。
homes、global、printers

コメント (オプション) 必要であれば入力してください。

パス 共有するフォルダのパスです。フォルダ名とパスを入力します。パス欄に記入したフォルダが存在しない場合は、新しく作成されます。[デフォルトのパス] を選択した場合、フォルダは ADMIN_ONLY フォルダに共有フォルダ名で作成されます。
[例]  パスを指定する /public/temp/

これらを入力し、[作成] ボタンをクリックして内容を保存します。作成された共有フォルダは、最初の画面の上側の共有フォルダリストに表示されます。

POINT

文字制限

本装置では、ファイル名、フォルダ名の最大長は半角で 126 文字となります。
また、パス全体の最大長は ASCII 文字の場合で 255 文字となります。

ファイル属性の継承

本装置では、フォルダの属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）は継承されません。また、ファイル名の属性（読み取り専用、アーカイブ、システム、隠しファイル）については次のとおりです。

読み取り専用、隠しファイル属性：継承されません

アーカイブ、システム属性：継承されます（属性の変更はそのファイルの所有者のみが可能）

通常、ファイルの所有者は装置にそのファイルを保存したユーザになります。

■ 共有フォルダの編集、削除

最初の画面の上側にある共有フォルダ名リストで共有フォルダ名を選択すると、その共有フォルダのプロパティが下側に表示されます。選択した共有フォルダを削除する場合は、[削除] ボタンをクリックしてください。共有フォルダ名、コメントを変更する場合は、新しい内容を入力後、「更新」 ボタンをクリックしてください。

重要

共有フォルダの削除では、共有フォルダに設定されていたフォルダおよびフォルダ内のファイルは削除されません。フォルダおよびファイルを削除する場合は、Administrator 権限を持ったアカウントが、ネットワークコンピュータの ADMIN_ONLY フォルダから行ってください。
パスは、変更できません。

POINT

ADMIN_ONLY は、修正・削除ともできません。

■ その他の機能（検索）

共有フォルダリスト上にカーソルを置き、キーボードの文字を押すと、その文字を頭文字として持つ共有にジャンプします。

■ 入力可能文字数・制限

共有フォルダ名には、12byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。

" / ¥ [] : ; | = . , + * ? < > ' ` \$ % @

コメントには、48byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。

" ¥ : | , '

ディレクトリ名には、以下の文字を除く ASCII 文字が使用可能です。

" / ¥ [] : ; | = . , + * ? < > ' `

グループ名には、20byte までの ASCII 文字が使用可能です。ただし以下の文字は除きます。

" / ¥ [] : ; | = . , + * ? < > ' ` \$ % @

■ アクセス権限の設定

グループのアクセス権限を設定します。「読み取り専用 :Read-only」または「読み書き :Read-Write」のいずれかを選択します。デフォルトは「読み書き :Read-Write」です。

既存の共有フォルダに対して、グループの関連付けの設定・変更を行う場合は、「共有フォルダ」で共有名を選択し、「アクセス権」ボタンをクリックします。

Administrator グループは常にすべての共有フォルダに対して、読み書き権限を持ちます。



共有フォルダ名

共有フォルダ画面で選択した共有フォルダ名を表示します。

アクセス可能なグループ 「アクセス可能なグループ」リストには、グループがアクセス可能なグループを表示します。アクセス権限は、R=Read Only（読み取り専用）、R/W=Read-Write（読み書き）で表示されます。

その他のグループ

「その他のグループ」リストにはその他のすべてのグループが表示されます。

【アクセス権限の追加】

右側のリストからグループを選択して「<<Read」をクリックすると読み取り専用の権限が与えられます。「<<R/W」ボタンをクリックすると読み書きの権利が与えられます。複数のグループを選択する場合、「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

【アクセス権限の削除】

左側のリストからグループ名を選択して「なし>>」ボタンをクリックします。複数のグループを選択する場合「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながら選択します。

[GUEST 設定]

■ GUEST アカウントの設定

チェックボックスをチェックすることにより、登録されていないアカウントを「guest」としてログインさせることが可能になります。ただし、「guest」にパスワード設定されていない場合のみ有効となります。デフォルトでは、チェックボックスはチェックされています。



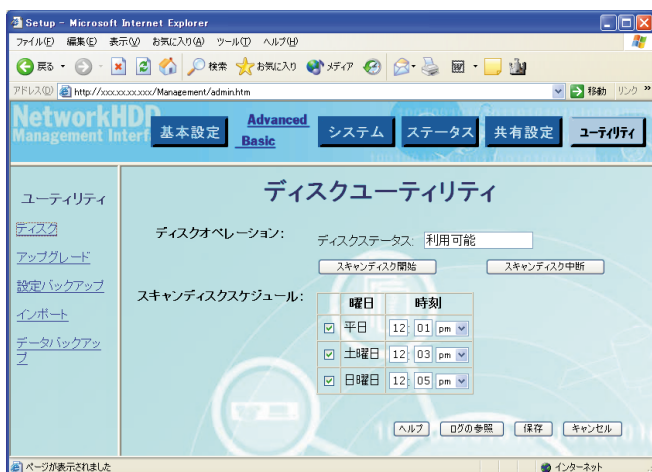
3



ユーティリティグループ

これらのユーティリティは、通常の操作では必要ありません。

[ディスク]



■ ディスクオペレーション

ディスクチェックプログラムを実行し、ファイルシステムを検査します。

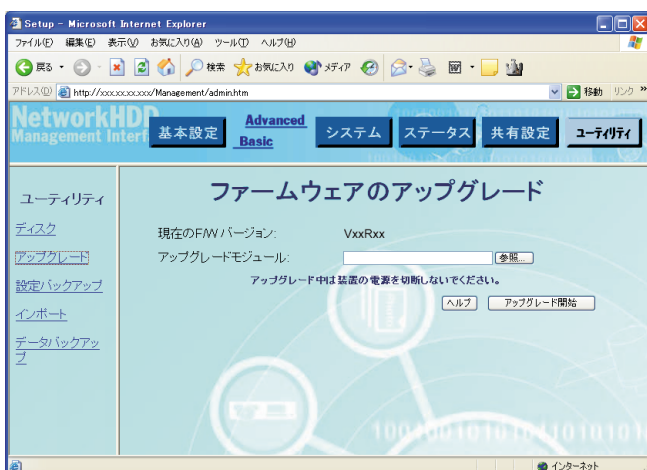
[スキャンディスク開始] ボタンをクリックすることで、ファイルシステムの検査を開始します。

■ スキャンディスクスケジュール

スキャンディスクを行う曜日（平日、土曜日、日曜日）、時間を指定できます。時間を設定し、左のチェックボックスをチェックしてください。

設定入力後「保存」をクリックすることで設定が完了します。

[アップグレード]



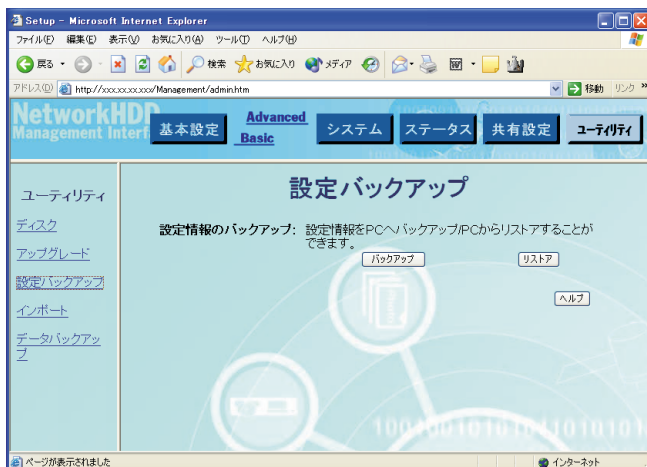
本装置のファームウェアのアップグレードを行います。アップグレードファイルをフルパス（例：C:\¥downloads¥utilities¥DS36799.bin）で指定し、[アップグレード開始] ボタンをクリックします。アップグレード操作中は、本装置を使用できません。またこの接続を含めたすべての接続は、切断されます。本装置は、アップグレードが終了すると自動的に再起動します。

重要

[アップグレード開始] ボタンをクリック後は、「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示され、本装置が再起動するまで、他の操作を行わないでください。
アップグレードが正常に終了せず、不具合の原因となる場合があります。

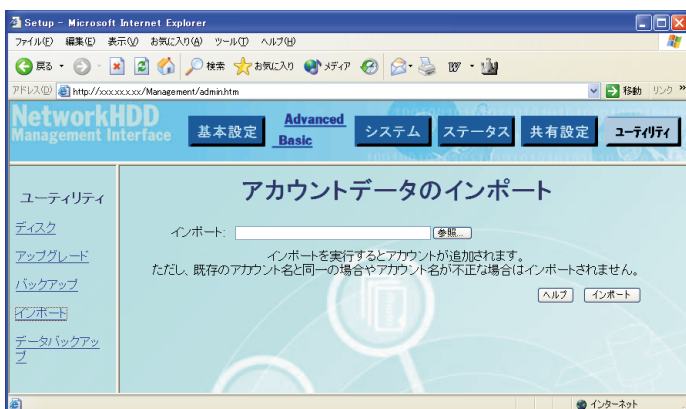
[設定バックアップ]

設定情報のバックアップおよびリストアを行います。



詳細は、「第4章 装置のバックアップ」の「2 設定情報のバックアップ」を参照してください。

[インポート]



CSV 形式のアカウント情報をインポートします。

アカウント情報ファイルをフルパス（例：C:\document\users.csv）で入力、または参照ボタンから指定し、[インポート] ボタンをクリックします。

POINT

- ・ 句読点、特殊文字、2 バイト文字（日本語等）は使用できません。
- ・ 既存のアカウント名と同一の場合やアカウント名が不正な場合は、インポートされません。パスワードとコメントは無しになります。

（アカウント情報作成例）

下記のようにアカウント名を記述し、CSV 形式で保存します。

	A	B	C
1	User1		
2	User2		
3	User3		
⋮	⋮		

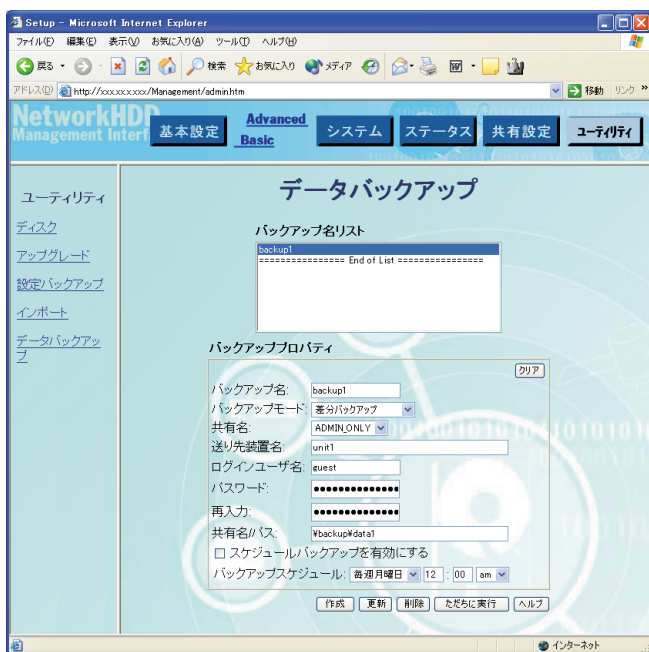
注：CSV 形式で保存すると、アカウント名どうしの間は改行コードで区切られます。

重要

インポート結果がログに出力されます。実行後、ログを確認してください。

[データバックアップ]

共有フォルダ内のデータを他の装置にバックアップします。



詳細は、「第 4 章 装置のバックアップ」の「3 スケジュールによるバックアップ」を参照してください。

8 RAID サブシステムの保守

RAID サブシステムは、自動的にデータを「ミラーリング」します。各ディスクには、データの完全なコピーが常に保持されます。

しかし RAID によるデータ保護機能は、ハードディスクの物理的故障の範囲に限定されており、全ての障害に対してデータを保全するものではありません。必ずデータのバックアップを実行してください。

バックアップの方法は、「第4章 装置のバックアップ」を参照してください。

ハードディスクの故障

ハードディスクが故障すると、LCD パネルにメッセージが表示されます。ドライブを至急交換してください。

メッセージの詳細は、「第8章 付録」を参照してください。

ハードディスクの交換

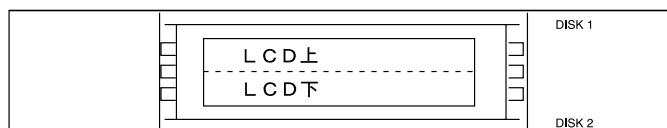
重要

次の事項に注意してください。

- ・新しいハードディスクは、一定条件を満たしたものでなければいけません。本装置専用の FMHDC-12LR（以下、スペアディスク）をご使用ください。
- ・新しいスペアディスクを挿入すると、データが他のハードディスクからコピーされます。このプロセスは「再構築」と呼ばれます。両方のハードディスクを同時に交換すると、再構築は不可能となり本装置が故障します。
- ・本装置は、ホットスワップ可能であり、ハードディスクの交換中でも動作可能です。
- ・故障したハードディスクを交換するときは、本体の電源をオンにし、再構築が完了するまでオンのままとしてください。

■ RAID システムの LCD 表示について

本装置の RAID システムには、次の LCD メッセージがあります。



(LCD 上)

(LCD 下)

Welcome RAID

／ Vx.XX.XX

電源投入時直後に表示

Disk1 : OK

／ Disk2 : OK

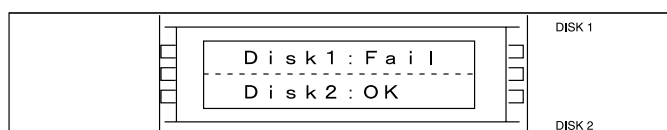
正常時

詳細は、「第8章 付録」を参照してください。

■RAID の LCD パネルに Fail が表示された場合

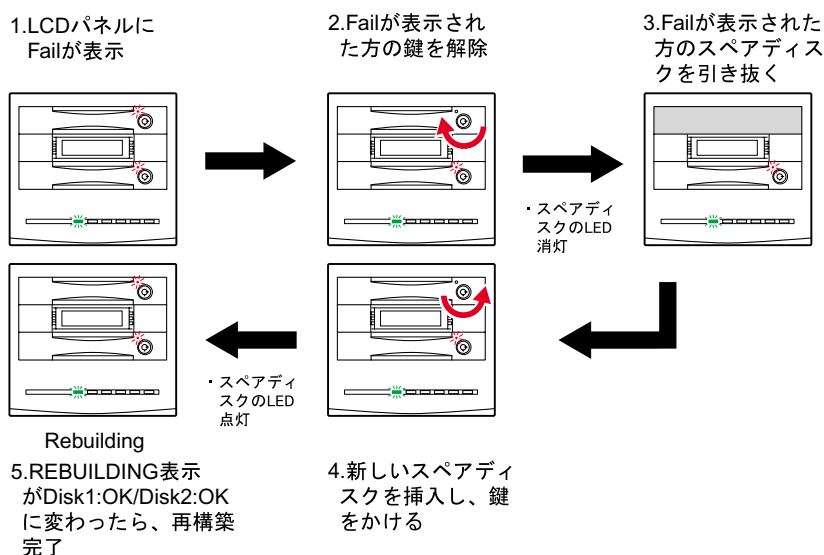
LCD 表示のどちらかのディスクが Fail になった場合にはディスクの交換が必要です。

[例] Disk1:Fail、Disk2:OK の表示の場合



重要

下記の作業は、本装置の電源を投入した状態で実施してください。

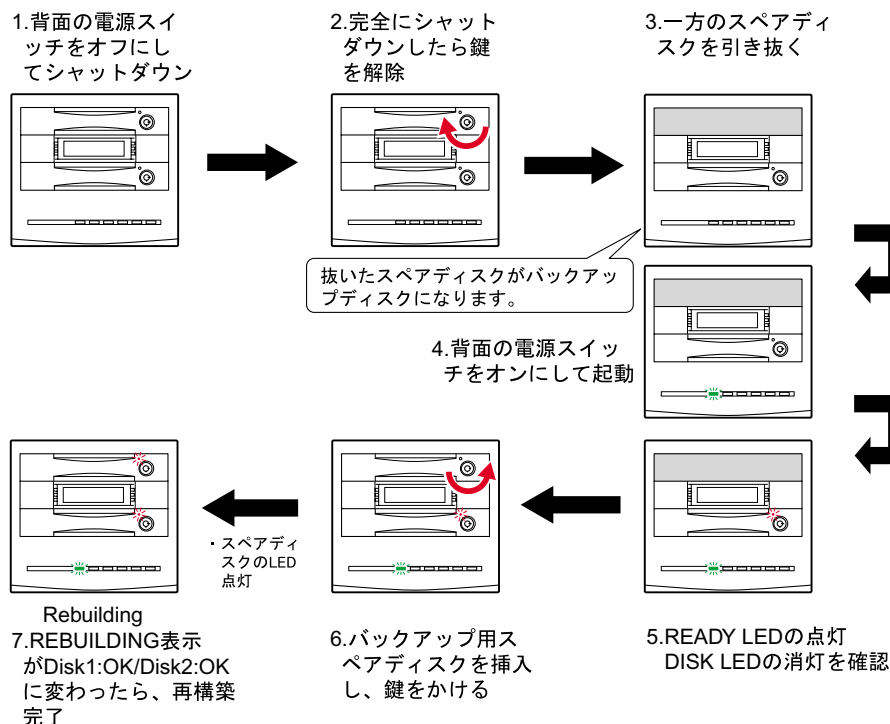


重要

- ・再構築中（LCD 表示が Rebuilding 表示中）は、スペアディスクを取り外さないでください。
- ・上記以外の操作は行わないでください。データが破壊される場合があります。

■バックアップ用スペアディスク（バックアップディスク）を作成する場合

バックアップ用（保存用）のスペアディスク（以下、バックアップディスク）を作成する場合には、以下の作業を実施してください。



交換用のディスクは、一定条件を満たしたものを使用する必要があります。本装置専用のスペアディスクをご使用ください。ご購入に関しましては、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお問い合わせください。

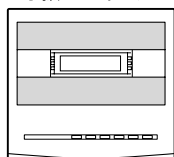
重要

- ・再構築中（LCD表示がRebuilding表示中）は、スペアディスクを取り外さないでください。
- ・上記以外の操作は行わないでください。データが破壊される場合があります。

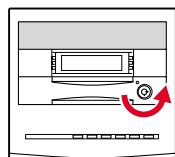
■バックアップディスクからデータの復元を行う場合

バックアップディスクからデータの復元を行う場合には、以下の作業を実施してください。

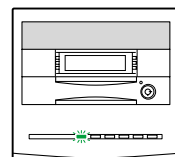
1.本装置からスペアディスクを2台とも抜いておく



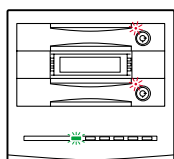
2.バックアップディスクを挿入し、鍵をかける



3.背面の電源スイッチをオンにして起動

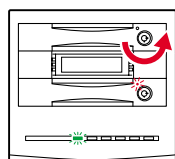


・スペアディスクのLED点灯

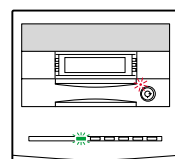


Rebuilding

6.REBUILDING表示がDisk1:OK/Disk2:OKに変わったら、再構築完了



5.データの入っていないスペアディスクを挿入し、鍵をかける



4.READY LEDの点灯
DISK LEDの消灯を
確認
(システムが起動し、データにアクセスできます。)

重要

- ・再構築中（LCD表示がRebuilding表示中）は、スペアディスクを取り外さないでください。
- ・上記以外の操作は行わないでください。データが破壊される場合があります。

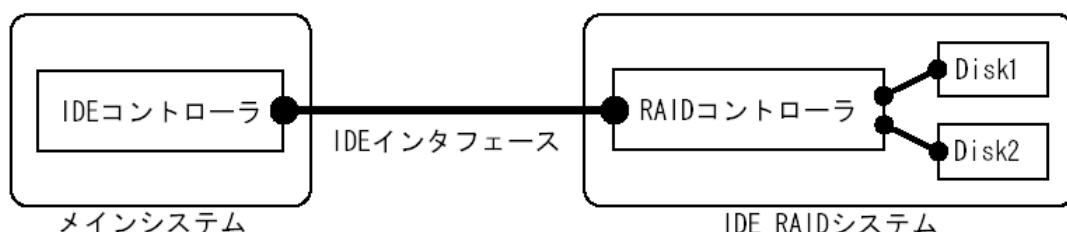
RAID の機能について

本装置には、RAID システムが搭載されています。しかし RAID によるデータ保護機能は、ハードディスクの物理的故障の範囲に限定されており、全ての障害に対してデータを保全するものではありません。例えば、急な停電等による電源切断が発生した場合や、システム本体に発生した障害がハードディスクに影響した場合には、データはハードディスク内には格納されていない場合があります。必ずデータのバックアップを実行してください。

■ RAID システムの構成

本装置に搭載される RAID システムは、2 機の同一のハードディスクを搭載することで、ディスクのミラーリングを実行します。

システム概略図



本装置の IDE RAID システムにおいては、本装置メインシステムのハードディスクアクセス信号を RAID コントローラが分配し、双方のハードディスクへ同時に書き込みを行います。このため、一方のハードディスクに障害が発生した場合においても、他方のハードディスクによってデータが維持されます。

■ システムエリアとデータエリア

本装置では、設定情報をハードディスク内に格納しています。
 このため、お客様自身で任意のハードディスクを使用することはできません。
必ず、本体に添付のハードディスクおよびスペアディスクをご使用ください。

■ スペアディスクに関して

スペアディスクのご購入に関しましては、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にお問い合わせください。スペアディスクを装着する場合の再構築の方法については「ハードディスクの交換」P.67 を参照してください。

POINT

再構築（リビルド）では、一方のハードディスクから他方のハードディスクへ全てのデータをコピーする（ミラーリング）処理を行います。

■ ハードディスクの交換に関して

システム運用中に RAID システムの LCD パネルに Disk1:Fail または Disk2:Fail が表示された場合にはディスクの交換を行う必要があります。

この場合には、Fail が表示されたスペアディスクを抜き、新しいスペアディスクを挿入してください（新しいスペアディスクの装着はシステムが起動した状態で行ってください）。

■ バックアップ用スペアディスクの作成に関して

不測の事態に備えてバックアップ用のスペアディスクを作成し、保存しておくことができます。

スペアディスクの一方を新しいスペアディスクに交換し、バックアップスペアディスクを作成します。

この場合、一度システムをシャットダウンしてから一方のスペアディスクを抜いてください。その後スペアディスクを挿入する前にシステムを起動し、システムが起動してから新しいバックアップ用スペアディスクを挿入してください。

9 設定例

本装置をご利用する場合のフォルダ / アカウント / グループ管理について、設定例を説明します。

3

専用フォルダの作成

同一ネットワーク内にいる人たちが共通で1台の本装置を利用している環境で、各個人のみが利用できるフォルダを作成する場合を説明します。

共有フォルダ名：tanaka1- 田中、グループ名：tanaka1、アカウント名：tanaka

(1) アカウントの作成

Web ユーティリティにアドミニストレータでログインすると、「基本設定」の「アカウント作成」画面が表示されます。

ここでネットワークに参加する際に利用しているアカウント名「tanaka」を入力します。「追加」ボタンをクリックした後、「次へ」ボタンをクリックします。

Setup - Microsoft Internet Explorer

アドレス欄: http://xxx.xxx.xxx/Management/admin.htm

基本設定 | **アカウント作成** | システム | ステータス | 共有設定 | ユーティリティ

アカウント作成

装置を利用するアカウントを作成します。ここで作成するアカウント、パスワードはネットワーク、Windowsにログインしている時に使用しているものを設定してください。アカウントを入力し、「追加」をクリックしてください。アカウント作成後「次へ」をクリックしてください。

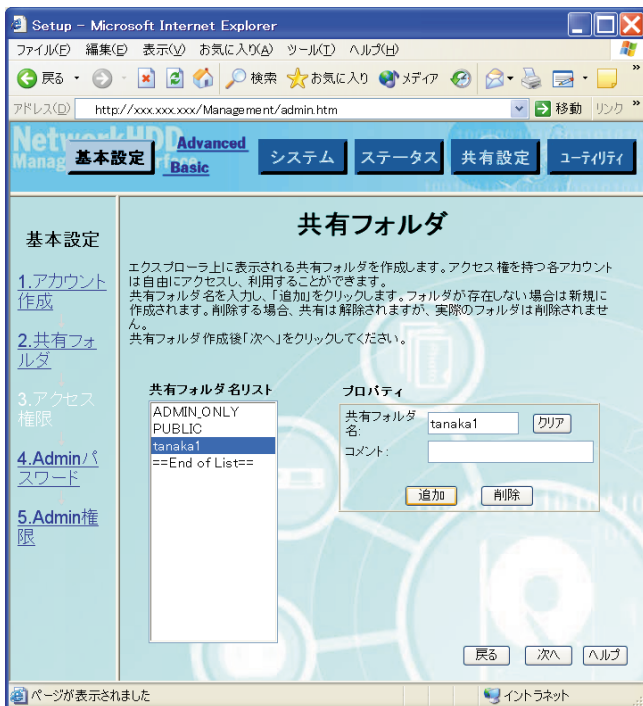
アカウントリスト	プロパティ
admin	アカウント名: tanaka
guest	コメント:
tanaka	パスワード:
==End of List==	再入力:
	☐ 容量制限を有効にする - 制限容量: MB
	追加 削除

(2) 共有フォルダの作成

次に共有フォルダを作成します。

共有フォルダに「tanaka1」を入力します。「追加」ボタンをクリックして「次へ」ボタンをクリックします。

(このとき自動的に「tanaka1」グループが作成されます。)



(3) アクセス権の設定

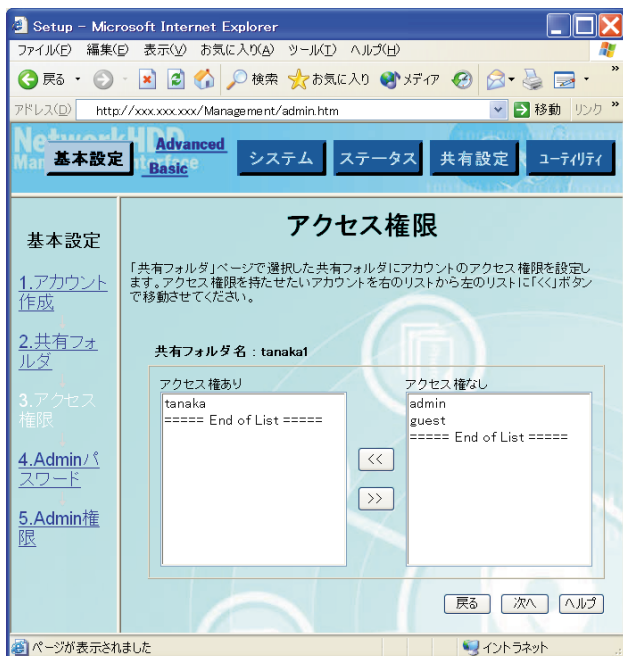
共有フォルダ「tanaka1」にアクセス可能なアカウントを設定します。

アクセス権を持たせたいアカウントを右のリストから左のリストに「<<」ボタンで移動させることでアクセス可能となります。

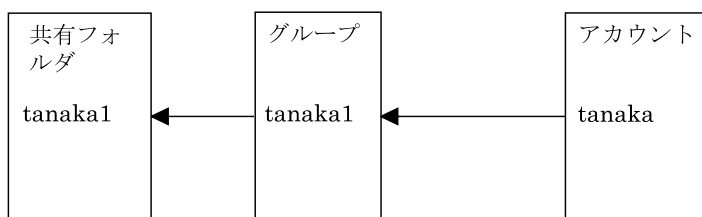
右のリストから「tanaka」を選択し「<<」ボタンで左のリストに移動させます。

以上で共有フォルダ「tanaka1」にアカウント「tanaka」のみがアクセスできるようになります。

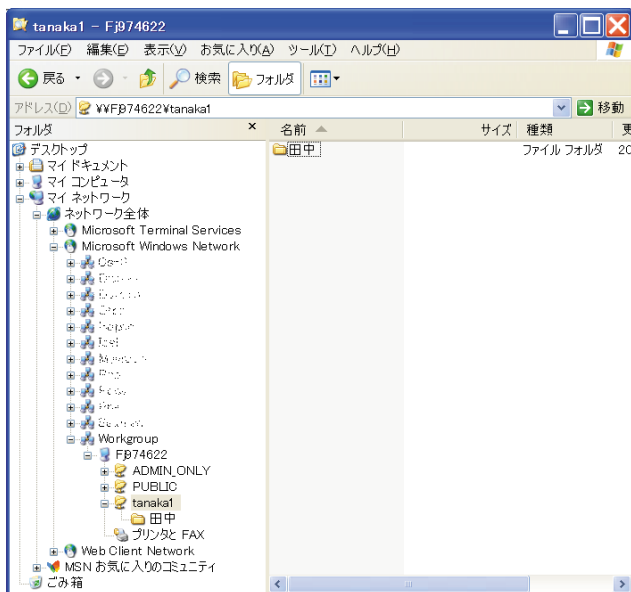
(実際には共有フォルダ「tanaka1」にグループ「tanaka1」が設定されて、グループ「tanaka1」内にはアカウント「tanaka」のみが設定されたことになります。)



(4) 構造概念図



エクスプローラからは下図の様に共有フォルダが作成されます。



POINT

フォルダ名を日本語にしたい場合は、「tanaka1」の下に「田中」フォルダを作成し、このフォルダを利用します。ただし、ネットワークへの割り当ては、「tanaka1」になります（Windows の制限）。

特定グループの人たちのみがアクセスできるフォルダの作成

ここまでで作成したアカウント「tanaka」が経理のグループにも所属し経理の人たちのみがアクセス可能なフォルダを作成する例をご説明します。

共有フォルダ：「keiri」、グループ名：「keiri」、所属アカウント：「tanaka, suzuki, kobayasi, watanabe」

3

(1) グループの作成

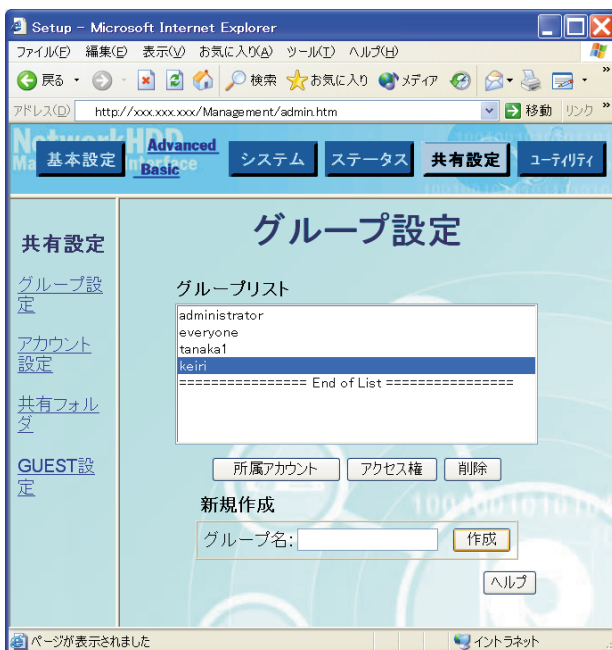
Web セットアップユーティリティの「共有設定」を選択します。

グループ設定で「keiri」を作成します。このグループに所属しているアカウントが一つのグループになります。

このグループ単位でどの共有フォルダにアクセス可能かを決定することができます。

グループ名に「keiri」と入力し「作成」ボタンをクリックしてください。

次にこのグループに所属するアカウントを設定するために、グループリストから作成した「keiri」を選択し「所属アカウント」ボタンをクリックしてください。

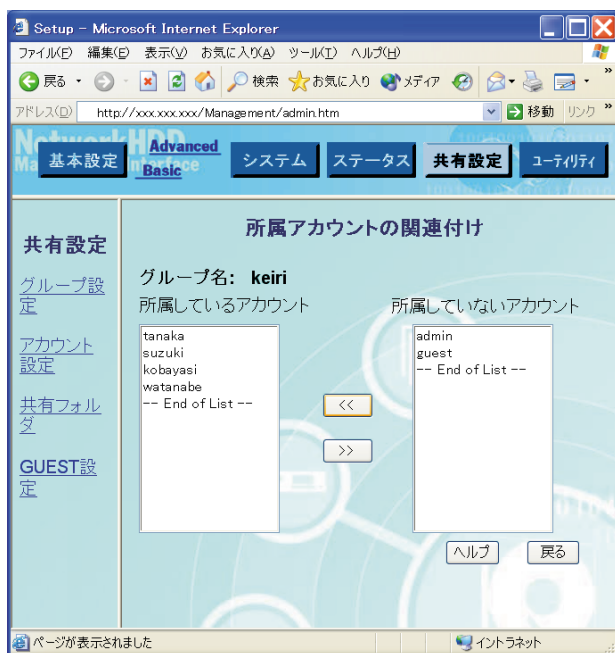


(2) 所属アカウントの関連付け

すでに「keiri」に所属するアカウント「tanaka, suzuki, kobayasi, watanabe」が作成されているとします。

(作成されていない場合は「アカウント設定」を選択してアカウントを作成してください。)ここで「所属していないアカウント」から「所属しているアカウント」に「<<」ボタンをクリックして移動します。

これで「keiri」に所属するアカウントを設定できます。



(3) 共有フォルダの設定

作成したグループが所属する共有フォルダを作成します。

共有フォルダ名に「keiri」と入力し「作成」ボタンをクリックしてください。この共有フォルダにアクセス可能なグループを設定します。

ここで共有フォルダ名リストから「keiri」を選択し「アクセス権」のボタンをクリックしてください。

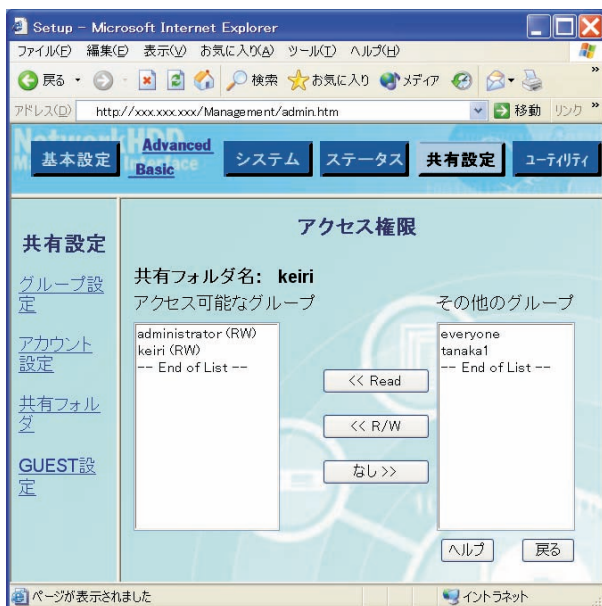


(4) アクセス権限の設定

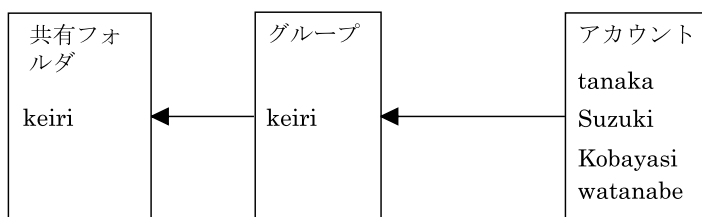
グループの作成のところで作成した「keiri」がその他のグループにいるため「<<R/W」ボタンをクリックしてアクセス可能なグループに移動します。

これでグループ「keiri」に所属しているアカウントが共有フォルダ「keiri」に読み書き可能な状態になります。

(ここで「<<Read」ボタンを押すはこのグループはこの共有フォルダに対して読み出しのみ可能になります。)

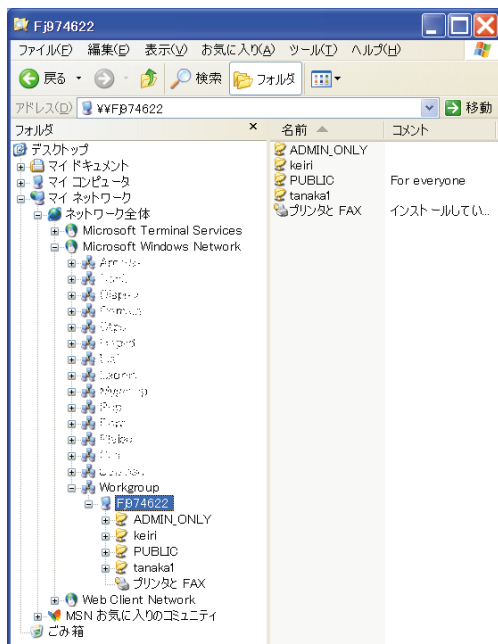


(5) 構造概念図



POINT

ここでは、共有フォルダ名とグループ名を同一の「keiri」にしていますが、別の名前にしてもかまいません。



4

第 4 章

装置のバックアップ

1 データのバックアップ	84
2 設定情報のバックアップ	85
3 スケジュールによるバックアップ	87

1 データのバックアップ

アドミニストレータ権限を持ったアカウントは、お使いのバックアッププログラムを使用してどのフォルダでもバックアップできます。Windows 上で本装置の全ファイルをバックアップするには、エクスプローラから administrator グループのアカウントで ADMIN_ONLY フォルダを選択してファイルコピーすることでバックアップをとることができます。

POINT

この操作では、設定情報はバックアップされません。
設定情報は、次項「2 設定情報のバックアップ」の操作で、バックアップをとることができます。

POINT

設定情報とは、以下の内容です。

- ・ 装置名
- ・ Microsoft ネットワーク情報（ワークグループ名等）
- ・ アカウント情報（パスワードを含む）
- ・ グループ情報
- ・ 共有情報
- ・ アカウント／グループ／共有相互のアクセス関連情報

重要

エクスプローラ等、他のユーティリティによりデータのバックアップを行った場合、そのバックアップデータの復元を行うと、データの容量制限の設定が初期状態に戻ります。

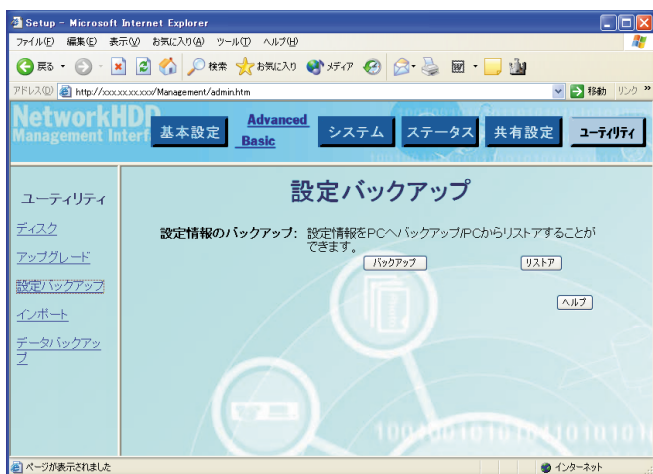
重要

OS によっては、容量制限機能で設定した容量を超えるファイルをコピーしようとすると、正常にコピーされません。

2 設定情報のバックアップ

設定情報は、Web Setup ユーティリティのユーティリティグループの設定バックアップからバックアップすることができます。

設定バックアップ画面から、「バックアップ」または「リストア」ボタンをクリックすると、バックアップ／リストアそれぞれの画面が表示されます。



バックアップする情報は下記の項目です。

- ・ 装置名
- ・ Microsoft ネットワーク情報（ワークグループ名等）
- ・ アカウント情報（パスワードを含む）
- ・ グループ情報
- ・ 共有情報
- ・ アカウント／グループ

■ バックアップ手順

1 【バックアップ】 ボタンをクリックします。

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

2 【保存】 ボタンをクリックします。

保存フォルダ名とファイル名を入力するダイアログが表示され、自由に設定して保存することができます。

ファイルが保存された後、以下のメッセージが表示されます。

「ダウンロードの完了」

3 【閉じる】 ボタンをクリックします。

■ リストア手順

- 1 【リストア】 ボタンをクリックします。**
設定ファイルのアップロード画面が表示されます。
- 2 【参照】 ボタンをクリックします。**
ファイルの選択画面が表示されます。
バックアップにより保存したファイルを選択します。
- 3 【アップロード開始】 ボタンをクリックします。**
リストアが実行されます。
バックアップにより保存したファイルより、設定情報がリストアされます。
リストア後「設定ファイルのアップロードが完了しました」とメッセージが表示され、装置はリブートされます。
- 4 「閉じる」 ボタンをクリックして、Web Setup ユーティリティを終了します。**
本装置はリブートされるため、リブートが完了するまではアクセスできません。

POINT

Admin パスワードについて

Microsoft ネットワークで使用する Admin アカountのパスワード情報はバックアップされますが、Web Setup ユーティリティで使用するパスワードは保存されません。

リストア後に Web Setup ユーティリティの Advanced 設定で、パスワードの再設定が必要です（リストア後はパスワードは設定されていない状態となります）。

POINT

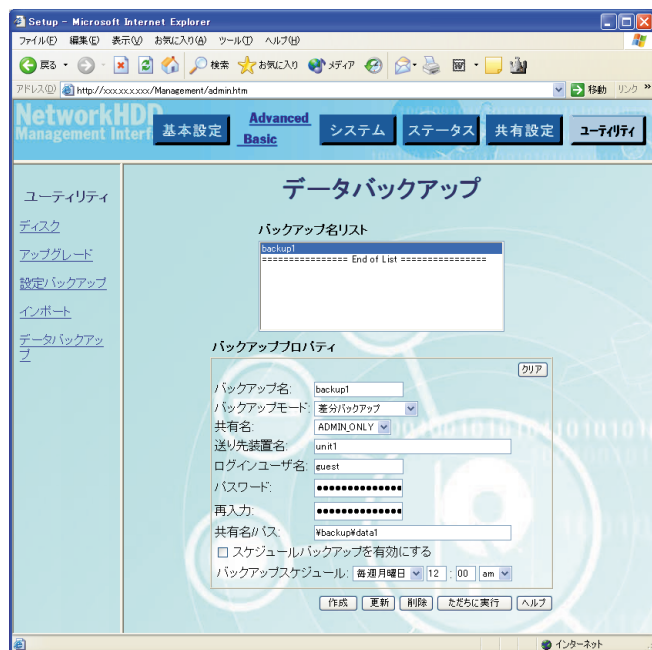
リストア後の注意事項

設定情報のバックアップ時の共有フォルダ設定の構成とデータのバックアップ時の共有フォルダ設定の構成が異なると、構成によって共有フォルダに設定していたパスが存在しない状態になることがあります。この場合、実在のフォルダに対する共有フォルダ設定が有効になっていないので、共有フォルダ名リスト上の該当共有フォルダが赤字で表示（警告）されます。

該当共有フォルダを選択し、パスを指定して更新を実施してください。

3 スケジュールによるバックアップ

共有フォルダ内のデータは、Web Setup ユーティリティのユーティリティグループのデータバックアップ画面から他の装置にバックアップすることができます。



共有フォルダ内のデータを他の装置にバックアップします。

■ バックアップ名リスト

設定済みのバックアップ名のリストです。バックアップ名は5つまで登録可能です。

■ プロパティ

バックアップ名	バックアップ名は5つまで登録可能です。
バックアップモード	コピーモードは3種類あり、バックアップ名ごとに選ぶことができます。 ・フルバックアップ 送り元の共有内のデータを送り先へコピーします。送り先に同名のファイルやフォルダが存在する場合にはすべて上書きされます。 ・差分バックアップ 送り元の共有内のデータを送り先へコピーします。送り先に同名のファイルやフォルダが存在する場合には、送り元ファイルの方が新しい場合に限り上書きされます。 ・拡張差分バックアップ 差分バックアップに加え、送り元に存在しないファイルが送り先に存在する場合には、送り先ファイルを削除します。
共有名	装置の共有リストから選択します。

送り先装置名	送り先の装置のアドレスです。
ログインユーザ名	送り先装置に登録されているアカウントが必要です。

POINT

句読点、特殊文字、2 バイト文字（日本語等）は使用できません。

パスワード、再入力	送り先装置に登録されているパスワードが必要です。
共有名 / パス	送り先装置の共有名およびパスを入力します。 入力は、以下のルールに基づいて行ってください。 1) 最初は / マークから始めてください。 2) / 共有名 / パスの順で入力してください。 例：送り先のパソコンのフォルダ構成が次の場合 パソコン装置名：AAAA フォルダ構成 ：C:/BBBB/CCCC/DDDD CCCCフォルダが共有しているフォルダでDDDDフォルダがデータ バックアップ先の場合 共有名 / パスの入力内容は、/CCCC/DDDDとなります。

POINT

句読点、特殊文字、2 バイト文字（日本語等）は使用できません。

■ バックアップスケジュール

スケジュールバックアップ を有効にする	チェックボックスを使い、スケジュールバックアップの有効 / 無効を選択します。
バックアップスケジュール	バックアップ名ごとに異なるスケジュール、時刻を設定できます。

■ ボタン操作

クリア	フォームのクリア、新しい送り先装置用に空のフォームを表示します。
作成	バックアップ名を追加します。
更新	選択したバックアップ名の情報を更新します。
削除	選択したバックアップ名を削除します。
ただちに実行	選択したバックアップがただちに実行されます。

POINT

バックアップを行ったデータは、エクスプローラによりバックアップ先の装置に作成された共有フォルダをコピーすることにより復元することができます。

重要

データバックアップ結果は、ログに出力されます。データバックアップ実行後は、「ステータス」→「システム情報」→「ログの参照」で必ずログを確認してください。

さらに、エラーが発生した場合は E-Mail 通知されますので、E-Mail 通知機能を有効にすることをお奨めします。

5

第 5 章

ユーザの環境設定

1 アカウントパスワードの変更	92
2 共有フォルダ／ファイルの参照	94
3 ディスクの使用	95

1 アカウントパスワードの変更

管理者が本装置上で有効なアカウント名を設定すると、Windows ユーザは次の手順に従ってパスワードを変更できます。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 [アドレス] ボックスに次のように入力します。

`http://<ip_address>/`

<ip_address> には、本装置の IP アドレスを指定します。

例： `http://192.168.0.2/`

POINT

本装置の IP アドレスが分からない場合は、管理者に問い合わせてください。



3 [アカウントパスワードの変更] ボタンをクリックします。



4 既存のアカウント名、パスワード、新しいパスワードを入力します。

5 設定を保存し、Web ブラウザを閉じます。

POINT

パスワード管理

ログオンは、一度だけとの方が便利です。これには、Windows、本装置、他の装置で「アカウント名」を同じにする必要があります。本装置のアカウントを作成または変更できるのは管理者のみですが、Windows のアカウント名は簡単に変更できます。

- ・ どの「アカウント名」でもログオンできます。Windows がアカウント名を認識しない場合は、新しいユーザプロフィールが作成されます。
- ・ Windows のパスワードは [コントロールパネル] → [パスワード] → [Windows パスワードの変更] で変更できます。

2 共有フォルダ／ファイルの参照



- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 [アドレス] ボックスに次のように入力します。

`http://<ip_address>/`

<ip_address> には、本装置の IP アドレスを指定します。

例：http://192.168.0.2/

POINT

本装置の IP アドレスが分からない場合は、管理者に問い合わせてください。



- 3 [共有フォルダ／ファイルの参照] ボタンをクリックします。

共有フォルダ、ファイル、基本的な情報が表示されます。

ファイル管理には、エクスプローラ等のファイルマネージャを使用してください。

POINT

OSによっては、参照したときに「プリンタ」が表示されることがあります。

3 ディスクの使用

本装置のディスクを使用するには、ドライブをアクセスしたい本装置の各フォルダに「対応付ける」必要があります。そうすると「ドライブ」がすべての Windows プログラムで使用可能となります。手順は、次のとおりです。

- 1 デスクトップの【ネットワークコンピュータ】アイコンをダブルクリックします。
- 2 【ネットワークコンピュータ】の画面から、本装置を探します。一覧に表示されない場合は、【ネットワーク全体】をダブルクリックします。次に本装置があるワークグループをダブルクリックします（デフォルトでは本装置は【Workgroup】内にあります）。
- 3 【本装置の装置名】アイコンをダブルクリックします。
- 4 アクセス権のあるフォルダ（ディレクトリ）を右クリックし、【ネットワークドライブの割り当て】を選択します。
- 5 このフォルダのドライブを選択し、【ログオン時に再接続】ボックスをチェックします（これをしないと、Windows を終了したときに割り当てが失われます）。次に【OK】をクリックします。
- 6 このドライブは Windows エクスプローラで使用可能となり、すべての Windows アプリケーション内の「ファイルを開く」または「名前を付けて保存」ダイアログで使用できます。

POINT

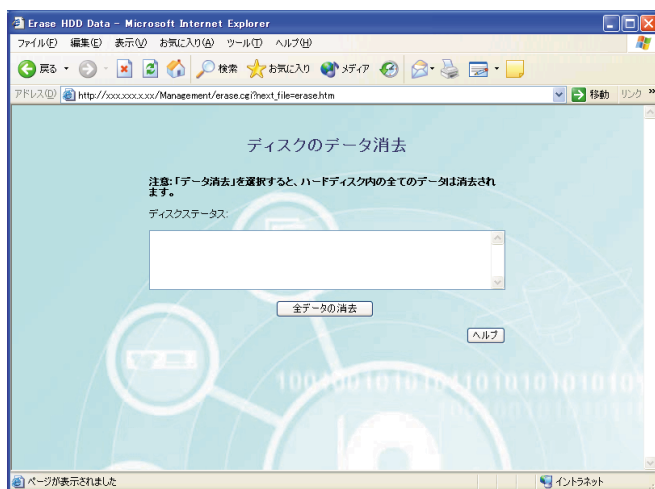
フォルダにアクセスするとき、パスワードの入力を求めるダイアログが表示されることがあります。「Windows ログオン名」「パスワード」と本装置の「アカウント名」「パスワード」を同一にしてください。

6

第 6 章 データ消去

本装置を廃棄する場合に第三者へのデータ漏洩を防止するために、ディスクのデータ消去でハードディスク上のすべてのデータを消去することができます。消去方法は、ランダムデータをハードディスク全面に3回書き込みます。

本機能は、誤消去を防止するために Web Setup ユーティリティのメニューには登録されていません。また、一度消去するとデータは復旧できませんので、実行の判断は慎重に行ってください。



■ ディスクのデータ消去手順

重要

以下の操作をすると、本装置は使用できなくなります。

- 1 **Web Setup ユーティリティを起動します**（起動方法は「第 3 章 運用と管理」を参照してください）。
- 2 **【アドレス】ボックスに次のように入力します。**
http://<ip_address>/Management/erase_disk.htm
<ip_address> には、本装置の IP アドレスを指定します。
例：http://192.168.0.2/Management/erase_disk.htm

POINT

大文字と小文字は区別されますので、正確に入力してください。

- 3 **【全データの消去】ボタンをクリックします。**
実行確認のダイアログが2回表示されますので、実行する場合はそれぞれ [OK] ボタンを押してください。実行しない場合は、[キャンセル] を押してください。
- 4 **データ消去が実行されます。**
消去実行中は、ディスクステータスに進捗状況が表示されます。

POINT

データ消去には約 19 時間かかります。

7

第 7 章

トラブルシューティングと FAQ

Q NetworkHDD Setup ユーティリティで本装置が表示されない。

A 次の項目をチェックします。

- ・ 本装置が正しくインストールされ、LAN 接続にも問題なく、電源がオンであることを確認します。
- ・ コンピュータと本装置が同じネットワークセグメント上にあることを確認します。
- ・ コンピュータに TCP/IP ネットワークプロトコルがロードされていることを確認します。
Windows では [コントロールパネル] → [ネットワーク] を使用して行います。TCP/IP プロトコルがリストボックスに表示されない場合は、[追加] → [プロトコル] → [Microsoft] → [TCP/IP] を使用して追加します。
次に TCP/IP のエントリを選択し [プロパティ] をクリックして、[IP アドレス] タブを設定します。
- ・ LAN に DHCP サーバがある場合は、[自動的に IP アドレスを取得する] を選択できます。
- ・ そうでない場合は [IP アドレスを指定する] を選択し、[IP アドレス] と [サブネットマスク] の値を入力してください。本装置の IP アドレスをデフォルトで使用する場合に使用できる [IP アドレス] の範囲は 192.168.0.1 ~ 192.168.0.254 までで (192.168.0.2 を除く)、[サブネットマスク] は 255.255.255.0 です (本装置のデフォルトの IP アドレスは 192.168.0.2 で、サブネットマスクは 255.255.255.0 です)。
各ホストには、固有の IP アドレスと同じサブネットマスクが必要なことに注意してください。

Q NetworkHDD Setup ユーティリティを使用していて、本装置は一覧に表示されるが [管理 (Web ブラウザ)] ボタンが使用できない。

A 本装置の IP アドレスがお使いのコンピュータと互換性がない場合に起こります。

[基本設定] ボタンを使用して、本装置にお使いのコンピュータと互換性のある IP アドレスとネットワークマスク (サブネットマスク) を割り当て、一覧を再表示します。

Q 本装置を設定したが、[ネットワークコンピュータ]に表示されない。

A [スタート] → [検索] → [他のコンピュータ] を使用して、本装置の名前を入力してみてください。

これで表示されない場合は、[コントロールパネル] → [ネットワーク] を使用して次をチェックします。

- TCP/IP プロトコルがインストールされていることを確認します。
- ネットワークのバインドをチェックします。
 - TCP/IP プロトコルがネットワークカード (NIC) にバインドされていることを確認します。
ネットワークカードを選択して [プロパティ] をクリックし、[バインド] タブを選択します。TCP/IP がバインド (チェック) されていない場合は、チェックマークを付けます。
 - TCP/IP プロトコルが [Microsoft ネットワーククライアント] サービスにバインドされていることを確認します。
ネットワークカードの TCP/IP エントリを選択して [プロパティ] をクリックし、[バインド] タブを選択します。[Microsoft ネットワーククライアント] がバインド (チェック) されていない場合は、チェックマークを付けます。
- ルータがない場合は、IP アドレスが本装置のものと互換性があるかをチェックします。IP アドレスは本装置と同じアドレスの範囲で、同じ [サブネットマスク] を使用している必要があります。
- ルータがある場合は、[ゲートウェイ IP アドレス] が正しく設定されていることを確認します。正しい値については LAN 管理者に問い合わせてください。

Q **〔ネットワークコンピュータ〕で本装置の装置名をクリックすると、パスワードの入力を求める画面が表示される。**

A 次の場合に表示されます。

- ・ この共有フォルダへのアクセス権がありません、管理者に依頼し、アクセス許可をもらいます。
- ・ コンピュータ上で使用したログイン名を本装置側で認識できず、**guest** のアクセス権を持つアカウントとして認識（初期設定値の場合、**everyone** グループ）されました。
この場合は次の方法で対処してください。
 - ・ 本装置上の共有フォルダへアクセス可能なグループを **everyone** と設定する
 - ・ 共有フォルダへアクセス可能な既存のグループに **guest** アカウントを追加する
 - ・ 共有フォルダへアクセス可能な既存のグループに、コンピュータへログイン時のアカウント名を追加する
- ・ コンピュータ上で使用したログイン名を本装置が認識していますが、パスワードは認識されていません。
本装置のパスワードを入力するか、コンピュータへログイン時のパスワードと本装置のパスワードを同じ設定にしてください。

Q **Web インタフェースの使用時にデータによって画面に収まらないものがあり、スクロールバーも表示されない。**

A Web ブラウザまたは Windows で非常に大きなフォントを使用したときのみ発生します。フォントサイズを縮小してください。

- ・ Web ブラウザでは [表示] → [フォント] を選択してフォントサイズを変更します。
- ・ Windows では [コントロールパネル] → [画面] → [設定] → [詳細] を使用してフォントサイズを変更します。[小さいフォント] または [大きいフォント] (125%) の 2 つの標準設定のどちらかが使用できます。

8

第 8 章 付録

装置仕様

型名	FMHD-12LR
外形寸法	180mm (W) × 330mm (D) × 166mm (H)
質量	6.3kg
動作温度	5 ～ 35 ℃
動作湿度	20 ～ 80%RH (結露しないこと)
保存温度	0 ～ 50 ℃
保存湿度	8 ～ 80%RH (結露しないこと)
ネットワークプロトコル	Microsoft ネットワーク (NetBIOS over TCP/IP) / FTP / NTP 管理ツール (HTTP、SMTP)
同時アクセス数	50 クライアント
ネットワークインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーション RJ45 コネクタ
対応 OS	Microsoft Windows 98/Me/NT4.0 (workstation) /2000 (Professional) / XP (HomeEdition/Professional)
対応ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 5.5SP2, 6.0SP1 Netscape Navigator 4.78, 6.2
LED	背面：LAN 接続ステータス × 2 前面：ステータス LED × 6
電源	AC 100V 50 ～ 60Hz
記憶容量* 1	122GB
エネルギー消費効率*2 / 区分名	0.0002 / B 区分

* 1：記憶容量は、1GB=1000 × 1000 × 1000Byte 換算です。

* 2：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定法により測定された消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除いたものです。

ソフトウェア仕様

各パラメータの制限

	値	出荷時設定
装置名	14byte までの ASCII 文字。 ただし以下の文字、およびすべてが数字の装置名は除く "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < > space ' ` () # \$ %	FJxxxxxx (xxxxxx は、MAC アドレスの下位 6byte)
コメント	48byte までの ASCII 文字。 ただし以下の文字は除く " ¥ : , '	
ワークグループ名	14byte までの ASCII 文字。 ただし以下の文字は除く "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < >	Workgroup
E-Mail 通知先 アドレス [1] ~ [3]	48byte までの E-mail アドレス (ASCII 文字) ただし以下の文字は除く "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < > ' `	
E-Mail 表題	48byte までの ASCII 文字。 ただし以下の文字は除く "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < > ' `	
アカウント名	20byte までの ASCII 文字。 ただし以下の文字を除く "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < > ' ` 小文字のみ使用可能 (自動変換)	guest admin
パスワード	14byte までの ASCII 文字 (スペースを含む)	
グループ名	20byte までの ASCII 文字。 ただし以下の文字は除く "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < > ' ` \$ % @	everyone administrator
共有フォルダ名	12byte までの ASCII 文字。 ただし以下の文字は除く "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < > ' ` \$ % @	ADMIN_ONLY : administratorグループのみアクセス可 public : 全ユーザがアクセス可
ディレクトリ名	以下の 18 文字の ASCII 文字を除く。 "/ ¥ [] : ; = . , + * ? < > ' `	

POINT

文字制限

本装置では、ファイル名、フォルダ名の最大長は半角で 126 文字となります。
また、パス全体の最大長は ASCII 文字の場合で 255 文字となります。

POINT

登録アカウント最大数 255 (admin、guest 含む)
 作成グループ最大数 255 (administrator、everyone 含む)
 共有フォルダ最大数 255 (ADMIN_ONLY、PUBLIC 含む)

LCD パネル表示 メッセージ一覧

LCD 上のメッセージ	LCD 下のメッセージ	説明
Disk1 : OK	Disk2 : OK	Disk1、2 共に正常
Disk1 : OK	Disk2 : Power OFF	Disk1 正常、Disk2 が電源オフ
Disk1 : Power OFF	Disk2 : OK	Disk1 が電源オフ、Disk2 正常
Rebuilding . . .	Disk1 ⇒ Disk2 xx%	Disk1 から Disk2 へデータ再構築中
Rebuilding . . .	Disk2 ⇒ Disk1 xx%	Disk2 から Disk1 へデータ再構築中
Disk1 : OK	Disk2 : Fail	Disk2 が故障
Disk1 : Fail	Disk2 : OK	Disk1 が故障
Disk1 : Fail	Disk2 : Fail	Disk1、2 共に故障
Wrong Capacity	Disk1 > Disk2	Disk1 と Disk2 の容量が一致していない。
Wrong Capacity	Disk2 > Disk1	
Source Fail	Disk1 ⇒ Disk2	ハードディスクのデータ異常 ハードディスクの交換操作のあやまりによる異常
Source Fail	Disk2 ⇒ Disk1	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : S Disk2 : S	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : T Disk2 : T	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : T Disk2 : X	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : X Disk2 : T	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : S Disk2 : U	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : T Disk2 : U	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : X Disk2 : U	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : U Disk2 : S	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : U Disk2 : T	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : U Disk2 : X	
Rebuild Flag ERR	Disk1 : U Disk2 : U	

索引

記号

10/100Base-TX コネクタ	15
100Base-TX LED	15
10Base-T LED	15

A

admin	32, 54
administrator グループ	52
ADMIN_ONLY	34, 58
Admin 権限	38
Admin パスワード	37
Advanced	39

B

Basic (基本設定)	31
--------------	----

C

CD-ROM	12, 21
CSV	11, 65

D

DHCP LED	16
DHCP クライアント	10, 24
Disk Full LED	16
Disk LED	16
DNS サーバ	43

E

E-Mail 通知	39, 45
Error LED	17
everyone グループ	52

F

F/W バージョン	49
FMHD-12LR への接続	27
FTP	44
FTP 設定	39

G

guest	32, 54
GUEST 設定	40

I

IP アドレス	24, 43, 49
IP アドレスを指定する	24

J

JavaScript 1.1	27
----------------	----

L

Lan LED	16
LAN ケーブル	20

M

MAC アドレス	49
Microsoft ネットワーク	44
MS ネットワーク	39

N

NetworkHDD Setup ユーティリティ	22
NTP 設定	40, 47

O

Oplock	51
--------	----

P

PID	50
PUBLIC	34, 58

R

Ready LED	16
-----------	----

T

TCP/IP 設定	39, 43
TCP/IP プロトコル	13

U

Uplink ボタン	15
------------	----

W

Web Setup ユーティリティ	27
WINS	44
WINS サーバ	24
WINS を有効にする	24

あ行

アカウント	26
アカウント設定	40
アカウントデータインポート機能	11
アカウントの作成	55
アカウントの編集、削除	55
アカウントパスワードの変更	92
アカウントプロパティ	54
アカウント名	33, 55
アカウントリスト	54
空き領域	48
アクセス権	26
アクセス権限	60

アクセス権ボタン	53, 57
アップグレード	41, 63
インストール	21
インポート	41, 65

か行

拡張差分バックアップ	87
管理	22
[管理 (Web ブラウザ)] ボタン	27
基本設定	22
共有設定	40
共有フォルダ	26, 40
共有フォルダの作成	58
共有フォルダの編集、削除	59
共有フォルダ名	35, 58
共有フォルダ名リスト	34, 57
グループ	26
グループ設定	40, 52
グループの関連付け	56
グループの作成	53
グループリスト	52
ゲートウェイ	24
言語	44
現在のステータス	49
現在の装置名	49
検索	22, 53, 56, 59
更新ボタン	57
コードページ	44
コメント	23, 33, 35, 55, 58

さ行

削除ボタン	53, 57
作成ボタン	53, 57
サブネットマスク	24
差分バックアップ	11, 87
参照ボタン	57
時刻	42, 49
システム	39
システム情報	40, 49
システム設定	39, 42
自動的に IP アドレスを取得する	24
シャットダウン	39, 46
シャットダウンスケジュール	46
終了	22
使用領域	48
所属アカウントボタン	53
スキャンディスクスケジュール	62
ステータス	40
ステータス LED	16
セグメント	10
セッション情報	50
接続情報	40, 50
設置	20
設定画面	23
設定バックアップ	41, 64
全二重	20

前面パネル	16
装置名	23
総容量	48

た行

タイムゾーン	23
直ちにシャットダウン	46
ディスク	41, 62
ディスクオペレーション	62
ディスク情報	40, 48
ディスクの使用	95
データ消去	11, 98
データバックアップ	11, 41, 66
デフォルト装置名	49
電源ケーブル	14, 20
電源コネクタ	14
電源スイッチ	14, 46
電子メール	45
盗難防止用ロック穴	15

は行

バージョン情報	22
排他制御	51
背面パネル	14
パス	58
パスワード	33, 55
バックアップ	84
バックアップスケジュール	88
バックアップ名	87, 88
パワーセーブ	46
半二重	20
日付	42, 49
日付 / 時間	23
ファイル情報	50, 51
ブザー	17
フルバックアップ	11, 87
プロパティ	34, 57, 87
ヘルプ	22
ボタン操作	88

ま行

メインメニュー	39
---------	----

や行

ユーティリティ	41
---------	----

ら行

リセットスイッチ	15
リブート	46
リフレッシュ	22
ルータ	24
ログのクリア	49
ログの参照	49

わ行

ワークグループ名 24, 44

ハードディスクユニット -120GB (LAN/RAID)
FMHD-12LR

オンラインマニュアル

B5FY-3461-01 Z0-00

発 行 日 2002 年 12 月
発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。